



SAP Device Driver for SATO Printers

User Manual

日本語版

Edition 2.3
January 2026

著作権

本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
© 2026 SATO Corporation. All rights reserved.

責任制限

株式会社サトーと、その日本、米国、その他諸外国にある子会社は、本書に関していかなる明言あるいは保証もいたしません。それには、特定目的への商品性及び適合性に対する黙示保証を含みますが、それに限定されるわけではありません。株式会社サトーは、本書に含まれる誤りや省略、あるいは、本書の供与、配布、性能、または使用によるいかなる直接的、間接的、付随的、結果的な損害に対して責任を負いません。

本書に記載されている仕様及び内容は、予告無しに変更することがあります。

商標

SATO は、株式会社サトーおよび国内外の子会社の登録商標です。

SAP、および ABAP は、ドイツおよびその他の国における SAP SE（又は SAP の関連会社）の商標若しくは登録商標です。

Windows は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標です。

QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。

その他すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

ソフトウェア更新に関する免責条項

本書に含まれる情報が正確であること、ならびに最新であることには最大限の注意を払っておりますが、本書に古い情報が含まれている場合があります。その場合は、所在地域のサトーウェブサイト(<https://www.sato-global.com/drivers/redirect.html>)で、更新された資料があるかどうかをご確認くださいませよう、よろしく申し上げます。

お問い合わせ先

下記のウェブサイトをご覧になり、最寄りの地域または国を選択してください。
<https://www.sato-global.com/about/locations.html>

目次

目次3

1	はじめに	4
2	動作環境	5
3	概要	6
4	SATO Device Type について	7
5	出力デバイスの作成	16
6	SATO-SAP Printer Driver の機能	18
6.1	バーコード	18
6.1.1	バーコード定義	19
6.1.2	新バーコードテクノロジー	20
6.1.3	新バーコードテクノロジーの対応バーコード	23
6.1.4	旧バーコードテクノロジー (従来のシステムバーコード)	25
6.1.5	旧バーコードテクノロジーの対応バーコード	25
6.1.6	プリンタバーコードの定義	26
6.1.7	UNDEF を使ったカスタマイズバーコード	29
6.1.7.1	UNDEF を使ったGS1-128 バーコード	29
6.1.7.2	UNDEF を使ったGS1 Datamatrix Barcode	31
6.1.7.3	UNDEF を使ったQR Code	34
6.1.7.4	RFID “ESC+IP0e:h,epc:” コマンド	36
6.2	フォント	37
6.2.1	NX シリーズ向け Unicode の印刷	39
6.3	スマートスタイル	48
6.4	スマートフォーム	50
6.4.1	テキストの追加	51
6.4.2	バーコードの追加	53
6.4.3	画像の追加	54
6.4.4	印字項目の位置調整	55
6.4.5	スマートフォームの印刷	55
6.5	システムコマンド	57
6.5.1	テキストの回転	61
6.5.2	コマンドを使った用紙サイズ設定	62
6.5.3	反転印刷エリアの設定	63
7	制限事項	64
8	付録	65
8.1	Barcode Print Control 一覧	65
8.2	Font Print Control 一覧	71

はじめに

1

SAP Device Driver for SATO printers は SAP スマートフォームから SATO プリンタへの印刷ソリューションを可能にします。

本ドライバは SAP 環境の ABAP で実装されたページ記述言語(PDL)のためのドライバです。このドライバを使うことでサードパーティ製の印刷ソリューションは不要です。

本ドライバは SATO BARCODE PRINTER LANGUAGE (SBPL) を SAP から直接出力し高パフォーマンスと高い効果を提供します。

このドキュメントではこのソリューションを使用するために必要な環境と構成について説明します。

動作環境

2

SAP ABAP-based PDL drivers のサポート環境は以下の通りです。

- SAP_BASIS Release 6.20:
Support Package SAPKB62064 + attached correction instructions 又は
Support Package SAPKB62065 + attached correction instructions 又は
Support Package SAPKB62066
Kernel 6.40 patch level 222
- SAP_BASIS Release 6.40:
Support Package SAPKB64022 + attached correction instruction 又は
Support Package SAPKB64023
Kernel 6.40 patch level 222
- SAP_BASIS Release 7.00:
Support Package SAPKB70014 + attached correction instruction 又は
Support Package SAPKB70016
Kernel 7.00 patch level 148
- SAP_BASIS Release 7.01:
サポートします。
- SAP_BASIS Release 7.10:
サポートしません。

SAP PDL drivers についての最新情報は [SAP Notes: 1097563](#) を参照して下さい。

概要

3

スマートフォームからの印刷を行うこのソリューションは、SATOを含むプリンタベンダーから提供される2つのコンポーネントが必要です。

- ABAP Based PDL device driver
- Device Type files

SAP システムへのコンポーネントアップロード後に次のことを行います。

- スマートスタイルを使い、Device Type の中から利用する印字項目を定義します。
- スマートフォームで帳票をデザインします。
- 使用する Device Type から出力デバイスを定義します。
- 出力デバイスを介し、スマートフォームを印刷します。

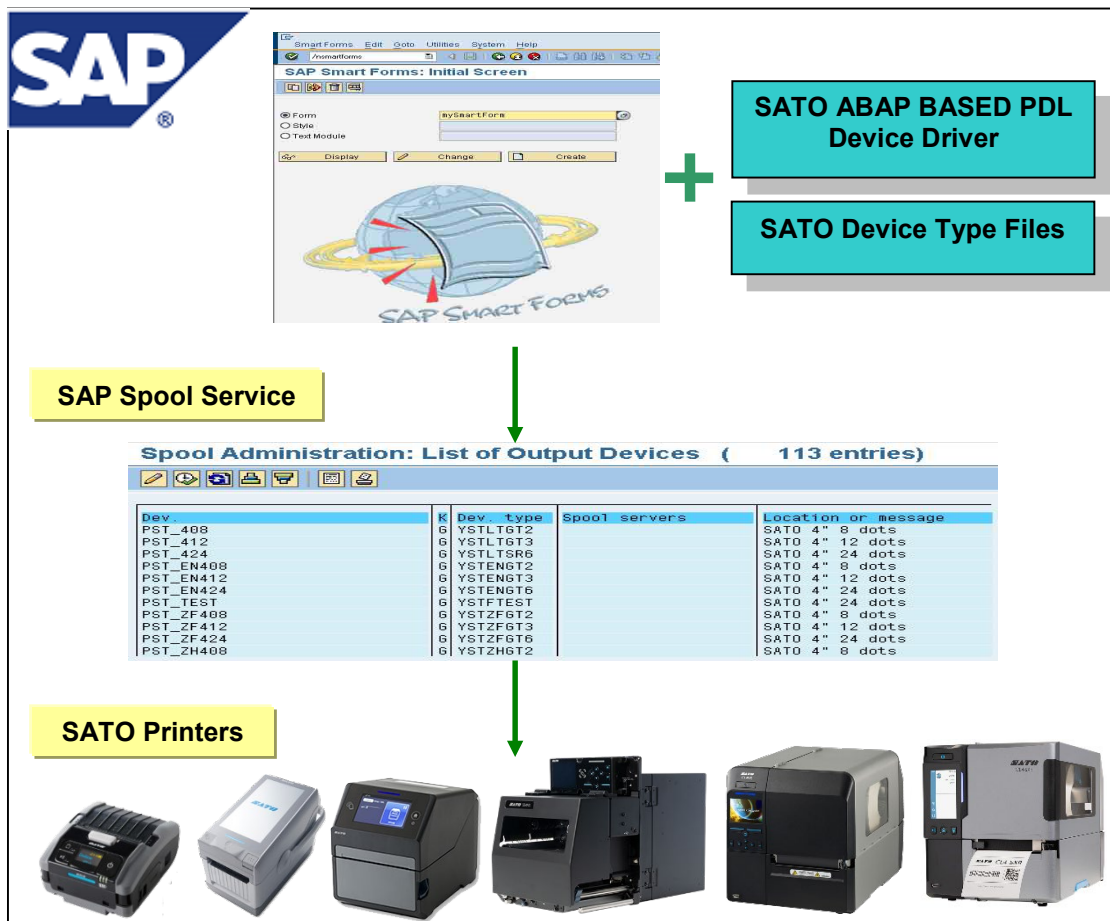


Figure 1 ソリューションの概要

SATO PDL Driverに関する最新情報は [SAP Notes: 1135106](#)を参照願います。

SATO Device Type について

4

SATO PDL Driver で利用可能な Device Type は以下の通りです。

Codepage	Name of Device Type	Resolution	Supported Models
Latin1 (ISO8859-1)	YSTLTGT2	203dpi	LT408 MB400i **S84-ex 203dpi **S86-ex 203dpi
	YSTLTGT3	305dpi	MB410i **S84-ex 305dpi **S86-ex 305dpi
	YSTLTGT6	609dpi	**S84-ex 609dpi
	YSTLTSR2	203dpi	*PT408e *MR400e *CL4NX-J/CL4NX-J Plus 203dpi *CL6NX-J/CL6NX-J Plus 203dpi *CT4-LX-J/HC4-LX-J 203dpi *PW4NX-J 203dpi *CL4-SXR TT203 (JP) *CL6-SXR TT203 (JP)
	YSTLTSR3	305dpi	*PT412e *MR410e *SG112T/R/ex *CL4NX-J/CL4NX-J Plus 305dpi *CL6NX-J/CL6NX-J Plus 305dpi *CT4-LX-J/HC4-LX-J 305dpi *CL4-SXR TT305 (JP) *CL6-SXR TT305 (JP)
	YSTLTSR6	609dpi	*CL4NX-J/CL4NX-J Plus 609dpi *CL4-SXR TT609 (JP)
	YSTLTHR6	609dpi	HR224
	YSTLTCN2	203dpi	**CL4NX/CL4NX Plus 203dpi **PW208NX/PW208mNX **CT4-LX/CT4-LX-HC/HC4-LX 203dpi **S84NX 203dpi **PW4NX 203dpi **CL4-SXR TT203 **CL6-SXR TT203
	YSTLTCN3	305dpi	**CL4NX/CL4NX Plus 305dpi **FX3-LX **CT4-LX/CT4-LX-HC/HC4-LX 305dpi **S84NX 305dpi **CL4-SXR TT305 **CL6-SXR TT305
	YSTLTCN6	609dpi	**CL4NX/CL4NX Plus 609dpi **S84NX 609dpi **CL4-SXR TT609

Codepage	Name of Device Type	Resolution	Supported Models
English Only (7-Bit USA ASCII)	YSTENGT2	203dpi	**S84-ex 203dpi **S86-ex 203dpi LT408
	YSTENGT3	305dpi	**S84-ex 305dpi **S86-ex 305dpi
	YSTENGT6	609dpi	**S84-ex 609dpi
	YSTENSR2	203dpi	*MR400e *CL4NX-J/CL4NX-J Plus 203dpi *CL6NX-J/CL6NX-J Plus 203dpi *CT4-LX-J/HC4-LX-J 203dpi *PW4NX-J 203dpi *CL4-SXR TT203 (JP) *CL6-SXR TT203 (JP)
	YSTENSR3	305dpi	*MR410e *SG112T/R/ex *CL4NX-J/CL4NX-J Plus 305dpi *CL6NX-J/CL6NX-J Plus 305dpi *CT4-LX-J/HC4-LX-J 305dpi *CL4-SXR TT305 (JP) *CL6-SXR TT305 (JP)
	YSTENSR6	609dpi	*CL4NX-J/CL4NX-J Plus 609dpi *CL4-SXR TT609 (JP)
	YSTENHR6	609dpi	HR224
	YSTENCN2	203dpi	**CL4NX/CL4NX Plus 203dpi **PW208NX/PW208mNX **CT4-LX/CT4-LX-HC/HC4-LX 203dpi **S84NX 203dpi **PW4NX 203dpi **CL4-SXR TT203
	YSTENCN3	305dpi	**CL4NX/CL4NX Plus 305dpi **FX3-LX **CT4-LX/CT4-LX-HC/HC4-LX 305dpi **S84NX 305dpi **CL4-SXR TT305
YSTENCN6	609dpi	**CL4NX/CL4NX Plus 609dpi **S84NX 609dpi **CL4-SXR TT609	
Europe Characters (Codepage 850)	YSTCPCL2	203dpi	CT408i M84-Pro2 CG208, CG408 WS408 **CL6NX/CL6NX Plus 203dpi **S86NX 203dpi **CL6-SXR TT203
	YSTCPCL3	305dpi	CT412i M84-Pro3 CG212, CG412 WS412 **CL6NX/CL6NX Plus 305dpi **S86NX 305dpi **CL6-SXR TT305
	YSTCPCL6	609dpi	M84-Pro6

Codepage	Name of Device Type	Resolution	Supported Models
Japanese (Shift-JIS) + English (7-Bit USA ASCII)	YSTJAPT2	203dpi	*PT408e
	YSTJAPT3	305dpi	*PT412e
	YSTJASR2	203dpi	*CL4NX-J/CL4NX-J Plus 203dpi *CL6NX-J/CL6NX-J Plus 203dpi *CT4-LX-J/HC4-LX-J 203dpi *PW4NX-J 203dpi *CL4-SXR TT203 (JP) *CL6-SXR TT203 (JP)
	YSTJASR3	305dpi	*SG112T/R/lex *CL4NX-J/CL4NX-J Plus 305dpi *CL6NX-J/CL6NX-J Plus 305dpi *CT4-LX-J/HC4-LX-J 305dpi *CL4-SXR TT305 (JP) *CL6-SXR TT305 (JP)
	YSTJASR6	609dpi	*CL4NX-J/CL4NX-J Plus 609dpi *CL4-SXR TT609 (JP)

Table 1 Device Type 一覧

注意: * 日本モデルを示します。

注意: ** 印刷時に LABEL_SIZE をスマートフォームに記述する必要があるプリンタを示します。ラベルの幅と高さの記述方法についてはドキュメントの [6.5.2](#) と図60を参照して下さい。YSTCPCL2デバイスタイプ使用時のラベル幅は1216、6インチラベル使用の YSTCPCL3デバイスタイプ使用時の値は1824となります。

Printer Model	Supported Languages	Device Type
PW4NX	Latin1 (ISO8859-1)	YSTLTCN2
	English (ASCII characters)	YSTENCN2
CL4NX/CL4NX Plus xxxdpi PW208NX/PW208mNX FX3-LX CT4-LX/CT4-LX-HC/HC4-LX S84NX xxxdpi CL4-SXR TTxxx	Latin1 (ISO8859-1) English (ASCII characters)	YSTLTCNx YSTENCNx
CL6NX/CL6NX Plus xxxdpi CL4xxe/CL6xxe S86NX xxxdpi CL6-SXR TTxxx	European Characters (codepage 850)	YSTCPCLx
S84-ex	Latin1 (ISO8859-1)	YSTLTGTx
	English (ASCII characters)	YSTENGTx
S86-ex	Latin1 (ISO8859-1)	YSTLTGTx
	English (ASCII characters)	YSTENGTx
LT408	Latin1 (ISO8859-1)	YSTLTGTx
	English (ASCII characters)	YSTENGTx
MB4xxi	Latin1 (ISO8859-1)	YSTLTGTx
	English (ASCII characters)	YSTENGTx
M84-Pro	European Characters (codepage 850)	YSTCPCLx
CT4xxi	European Characters (codepage 850)	YSTCPCLx
CG2xx/CG4xx	European Characters (codepage 850)	YSTCPCLx
HR224	Latin1 (ISO8859-1)	YSTLTHR6
	English (ASCII characters)	YSTENHR6
WS408	European Characters (Codepage 850)	YSTCPCL2
WS412	European Characters (Codepage 850)	YSTCPCL3

Printer Model	Supported Languages	Device Type
* SG112T/R/ex	Latin1 (ISO8859-1)	YSTLTSR _x
	English (ASCII characters)	YSTENSR _x
	Japanese (Shift-JIS) + English (ASCII)	YSTJASR _x
* PT4xxe	Latin1 (ISO8859-1)	YSTLTSR _x
	Japanese (Shift-JIS) + English (ASCII)	YSTJASR _x
*CL4NX-J xxxdpi *CL4NX-J Plus xxxdpi *CT4-LX-J xxxdpi *HC4-LX-J xxxdpi *CL4-SXR TTxxx (JP)	Latin1 (ISO8859-1)	YSTLTSR _x
	English (ASCII characters)	YSTENSR _x
	Japanese (Shift-JIS) + English (ASCII)	YSTJASR _x
*CL6NX-J xxxdpi *CL6NX-J Plus xxxdpi *CL6-SXR TTxxx (JP)	Latin1 (ISO8859-1)	YSTLTSR _x
	English (ASCII characters)	YSTENSR _x
	Japanese (Shift-JIS) + English (ASCII)	YSTJASR _x
* PW4NX-J	Latin1 (ISO8859-1)	YSTLTSR ₂
	English (ASCII characters)	YSTENSR ₂
	Japanese (Shift-JIS) + English (ASCII)	YSTJASR ₂

Table 2 Device Type対応言語

注意: * 日本モデルを示します (YSTJAxxx は英語 ASCII フォントもサポートします)。

PDL Device Driver のインポート方法については SAP Wizard Note: [Note 1103422 - SAP Printer Vendor program: Installing device types, etc.](#) を参照願います。

転送ファイルを SAP システムの該当のロケーションにコピーします:

- a. K*.PDT を \usr\sap\trans\cofile Cofile フォルダにコピーします
- b. R*.PDT を \usr\sap\trans\data Data フォルダにコピーします

SAP ECC Dev システムにログインし、転送 STMS を開きます。(トランザクションコードに STMS を入力します。)

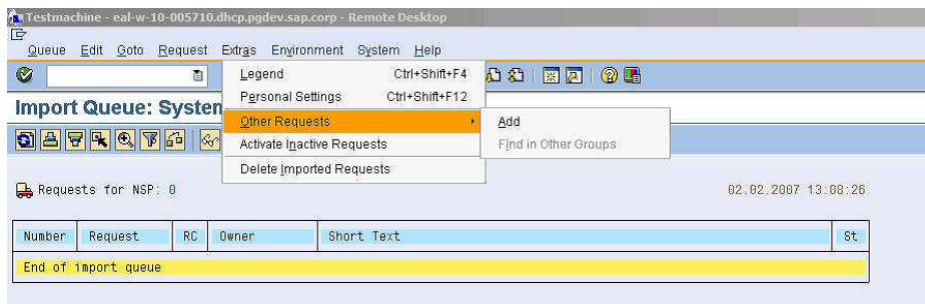


Figure 2 PDL デバイスドライバに転送リクエストを追加

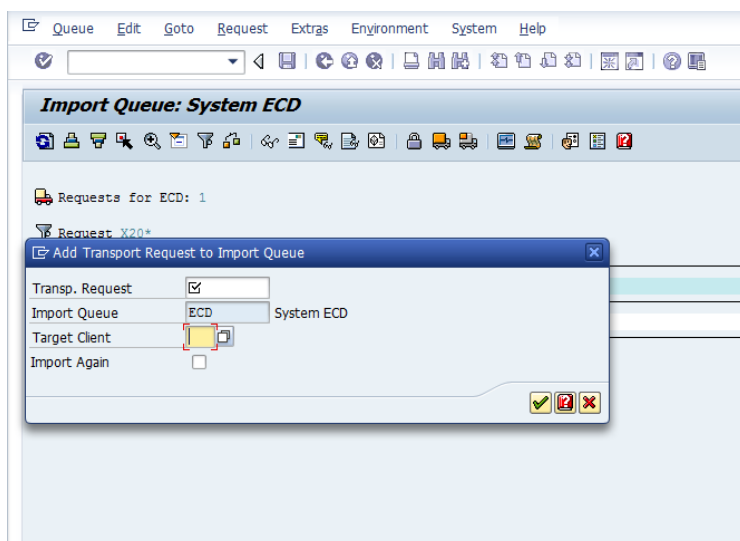


Figure 3 ターゲットクライアントの入力と転送リクエストの検索

ワイルドカード(*)と転送ファイル名(拡張子.PDT は含めない)を使用して転送リクエストを検索します。

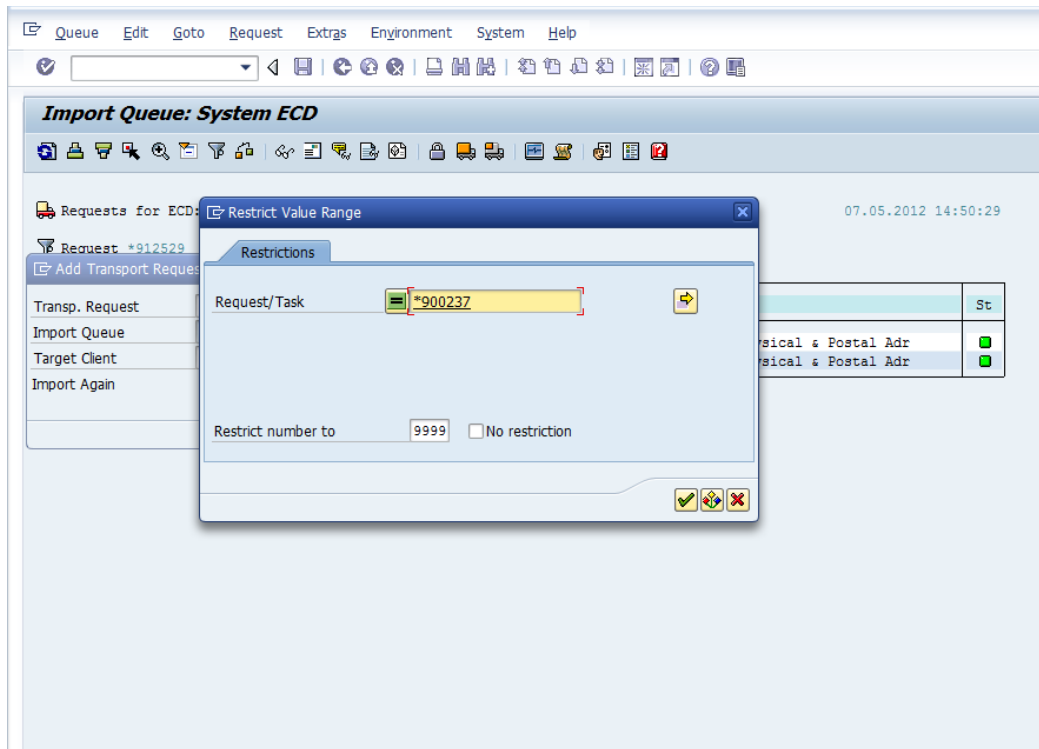


Figure 4 転送ファイル名の検索

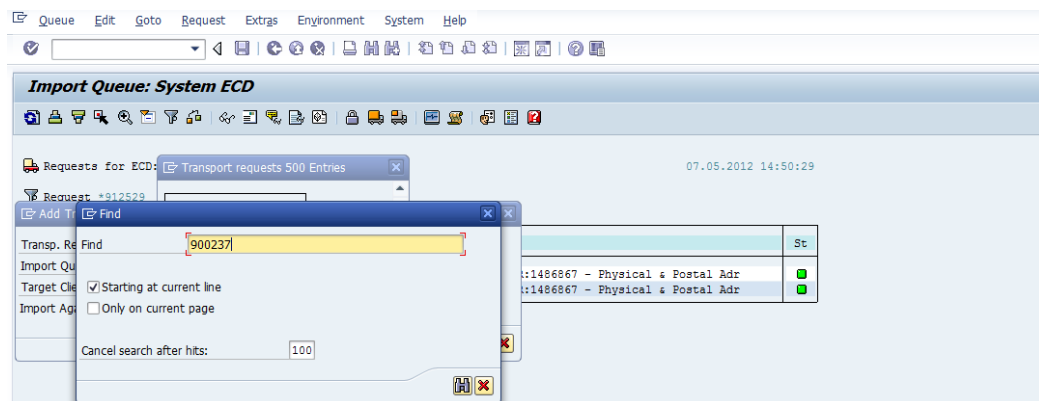


Figure 5 転送番号の指定

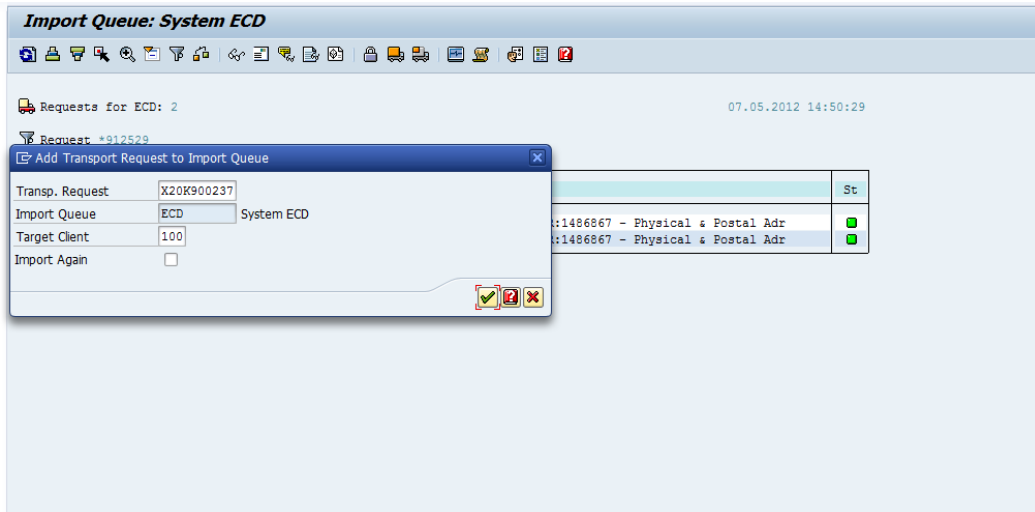


Figure 6 転送リクエストの確認

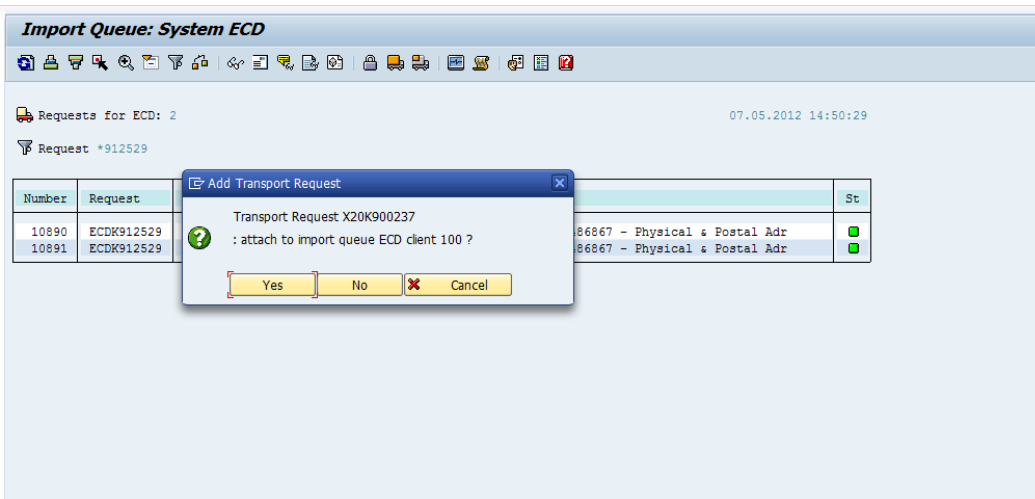


Figure 7 Yes ボタンをクリックして転送リクエストを確認

Device Type はトランザクションコード 'se38' で 'RSTXSCR' プログラムを使用して SAP システムにアップロードします。

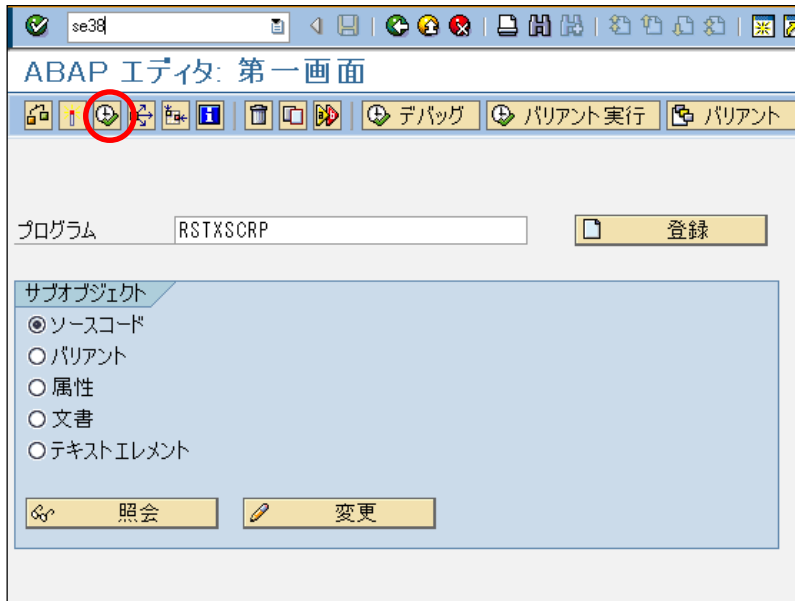


Figure 8 SATO Device Type のアップロード

'実行(F8)' ボタンを押すと以下の画面が表示されます。

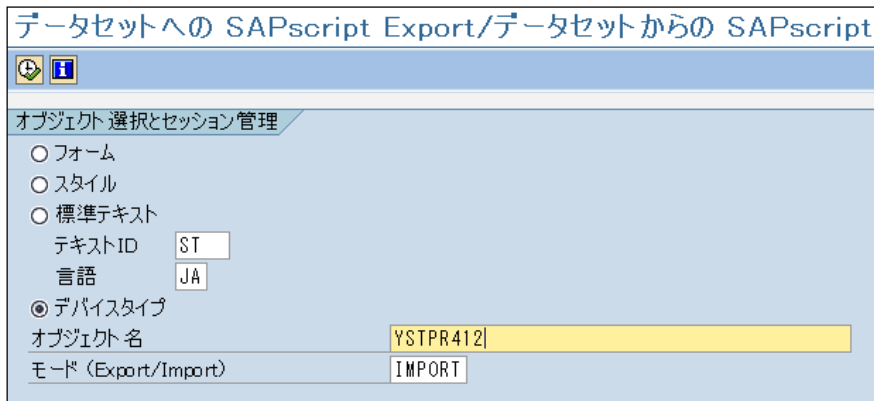


Figure 9 Device Type ファイルのインポート

ラジオボタンで 'デバイスタイプ' を選択し 'モード(Export/Import)' を 'IMPORT' に変更します。オブジェクト名には Device Type を表す名前を入力します。

注意: オブジェクト名は Device Type ファイル名と同じ名前 (拡張子を除く) を指定しなければなりません。 'YST' で始まる8文字で指定します。

‘実行 (F8)’ ボタンを押し続けます。

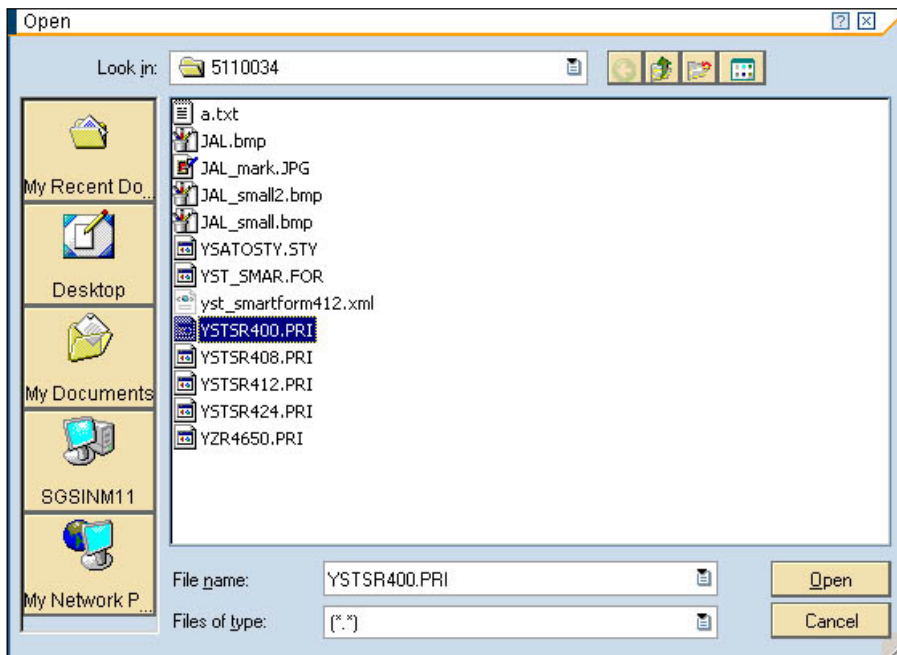


Figure 10 Device Type ファイルの選択

出カデバイスの作成

5

トランザクションコードに '/nspad' と入力しプール管理画面を開きます。

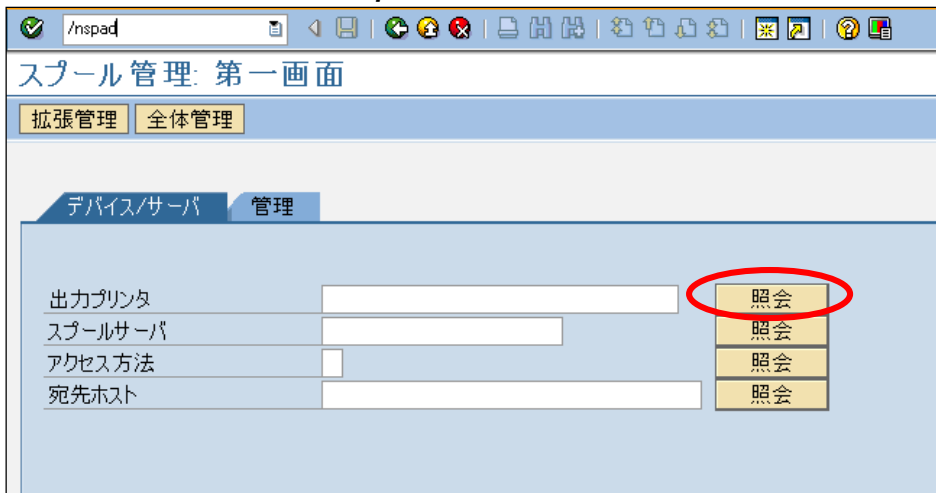


Figure 11 出カデバイスの作成

‘デバイス／サーバ’ タブにて ‘出カプリンタ’ の ‘照会’ ボタンを押します。

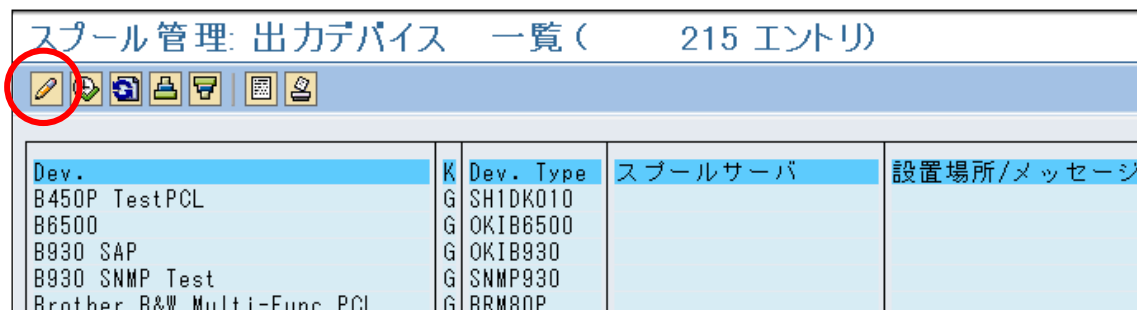


Figure 12 変更モードへの移行

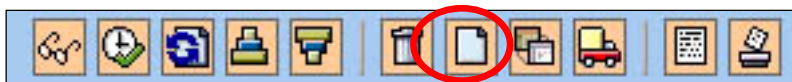


Figure 13 変更モードボタン

登録ボタンを押し出カデバイス登録画面を開きます。

Figure 14 出力デバイスの登録

任意の出力デバイス名を入力します。デバイスタイプはドロップダウンリストの中から SAP システム上に予めアップロードしたデバイスタイプを選択します。

Figure 15 出力方法の登録

‘アクセス方法’タブにて‘HostSpool アクセス方法’を定義します。

上記の例では、‘G:Control Tech によるフロントエンド印刷’を指定しています。この設定ではクライアント端末となる Windows プラットフォームの‘プリンタと FAX’に追加されているプリンタドライバの中から出力先を選択することになります。

注意: ここではテストの為‘G:Control Tech によるフロントエンド印刷’を使用します。

必要事項を入力し、設定を保存して下さい。

SATO-SAP Printer Driver の機能

6

SAP ABAP-Based Printer Driver for SATO printers は以下の印刷機能を提供します。

6.1 バーコード

SAP の従来のシステムバーコード、及び、新バーコードテクノロジーをサポートします。
(バーコードに関する詳しい情報について SAP notes: 430887 及び 645158を参照願います。)

新バーコードテクノロジー(NBT)を使用するには、トランザクションコード 'SE73' でシステムバーコードを定義します。NBTがサポートするバーコードは以下の通りです。

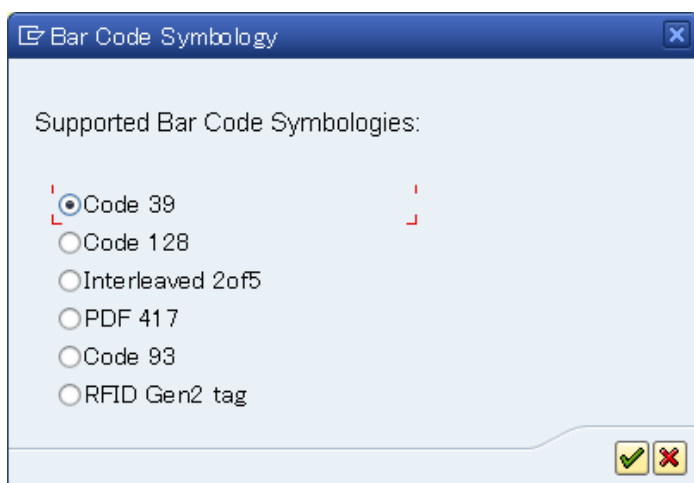


Figure 16 新バーコードテクノロジーのバーコード

従来のシステムバーコード (旧) を使用するには、トランザクションコード 'SE73' で必要なバーコード定義を 'システムバーコード' で作成する必要があります。そして、'プリンタバーコード' としてバーコードの定義を Print Control にリンクさせます。

SATO Device Type の提供する Print Control は以下の通りです。

Barcode Type	SAP Print Control	SBPL command
Postnet	SBP07	ESC+BP
UUC/EAN128	XB012	ESC+BI
NW-7 (Codabar, Ratio 1:3)	XB101-XB112	ESC+B0<module width>
Interleaved 2 of 5 (Ratio 1:3)	XB121-XB132	ESC+B2<module width>
JAN/EAN13 (Ratio 1:3)	XB141-XB152	ESC+B3<module width>
JAN/EAN8 (Ratio 1:3)	XB161-XB172	ESC+B4<module width>
UPC-A (Ratio 1:3)	XB181-XB192	ESC+BH<module width>
NW-7 (Codabar, Ratio 1:2)	XB201-XB212	ESC+D0<module width>
Interleaved 2 of 5 (Ratio 1:2)	XB221-XB232	ESC+D2<module width>
JAN/EAN13 (Ratio 1:2)	XB241-XB252	ESC+D3<module width>
JAN/EAN8 (Ratio 1:2)	XB261-XB272	ESC+D4<module width>
UPC-A (Ratio 1:2)	XB281-XB292	ESC+DH<module width>
NW-7 (Codabar, Ratio 2:5)	XB301-XB312	ESC+BD0<module width>
Interleave 2 of 5 (Ratio 2:5)	XB321-XB332	ESC+BD2<module width>
JAN/EAN13 (Ratio 2:5)	XB341-XB352	ESC+BD3<module width>

JAN/EAN8 (Ratio 2:5)	XB361-XB372	ESC+BD4<module width>
UPC-A (Ratio 2:5)	XB381-XB392	ESC+BDH<module width>
Code 39 (Ratio 1:3)	XB501-XB512	ESC+B1<module width>
Code 39 (Ratio 1:2)	XB521-XB532	ESC+D1<module width>
Code 39 (Ratio 2:5)	XB541-XB552	ESC+BD1<module width>
Code 93	XB561-XB572	ESC+BC<module width>

Table 3 Barcode Print Control 一覧

注意: SATO PDL Driver ではバーコード Code 128 Type-A, Type-B, Type-C 及び 自動切換をサポートします。このバーコードの使用方法については [SAP Note: 645158](#) を参照願います。

6.1.1 バーコード定義

スマートフォームでバーコードを使用するには、予めバーコードを定義する必要があります。

SE73 – SAPscript フォント更新

トランザクションコードに ‘SE73’ と入力し次の画面を表示します。

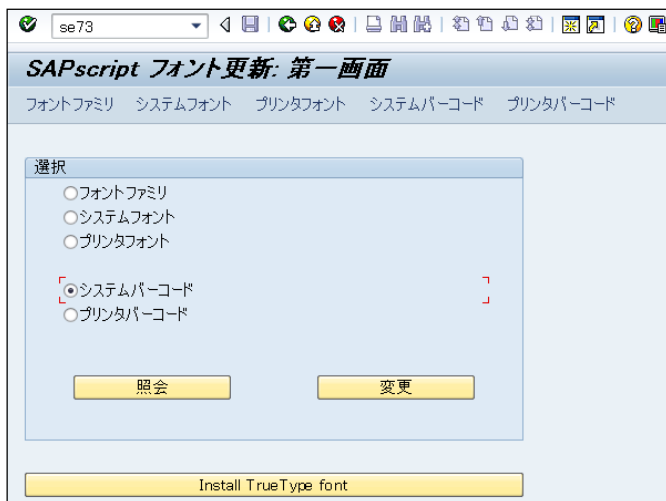


Figure 17 トランザクションコード 73 – SAPscript フォント更新

‘システムバーコード’ を選択し ‘変更’ ボタンを押し次の画面を表示します。

バーコード	内容説明	最小	最大	幅
BC_PSN5	USPS POSTNET 5 n.txt,h= 3mm	05	05	4.00
BC_PSN9	USPS POSTNET 9 n.txt,h= 3mm	09	09	6.50
C128A	Code 128 Autoswitch, h=0.5 in	Code 128		
C128A_00	Code 128A, n.txt,h= 5mm	01	15	4.00
C128A_01	Code 128A, r=090, n.txt,h= 5mm	01	15	4.00
C128B_00	Code 128B, n.txt,h= 5mm	01	15	4.00
C128B_01	Code 128B, r=090, n.txt,h= 5mm	01	15	4.00
C39_20	C39 20mm high 0.25 narrow bar	Code 39		
CD39C_00	Code39 w.chk, n.txt,h= 5mm	01	15	4.00
CD39C_01	Code39 w.chk,r=090,n.txt,h=5mm	01	15	4.00
CD39_00	Code39 n.chk, n.txt,h= 5mm	01	15	4.00
CD39_01	Code39 n.chk,r=090,n.txt,h=5mm	01	15	4.00
KUNAUNR	Kundenauftragsnummer	10	10	4.80
KUNAUPS	Kundenauftragsposition	06	06	4.80
MBBARC	Test Barcode Bestandsführung	10	10	5.00
MBBARC1	Test Barcode 1 Bestandsführung	10	14	5.00
NEWBAR	New Barcode	Code 39		
RSNUM	Reservierungsnummer	10	10	4.80
RSPOS	Reservierungsposition	04	04	4.80
RUECKNR	Rueckmeldenummer	08	14	4.80
TYPNR	Typennummer	10	10	8.00
YST128B	Code 128 New	Code 128		
YST128BO	Code128B old	01	50	4.00
YST2OF5	SATO Barcode Int. 2of5 1:3	02	24	2.00
YSTB128A	Code 128 BottomUP	Code 128		
YSTBC	Test	Code 128		
YSTBTST	Testchk LINDSE Barcode	01	50	0.70

Figure 18 システムバーコード画面

‘登録 (F5)’ ボタンを押し新システムバーコードの定義を作成します。

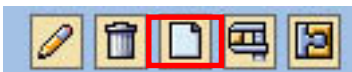


Figure 19 登録ボタン

6.1.2 新バーコードテクノロジー

以下に ‘新バーコードテクノロジー’ でバーコードを登録する方法を説明します。

新バーコードテクノロジー選択

新バーコードテクノロジーまたは
従来のシステムバーコード

Figure 20 新バーコードテクノロジー選択

‘新バーコードテクノロジー’では以下のバーコードをサポートします。

- Code39
- PDF417
- Code93
- 2 of 5 Interleaved
- Code128

‘新’ボタンを押して下記の画面を表示します。

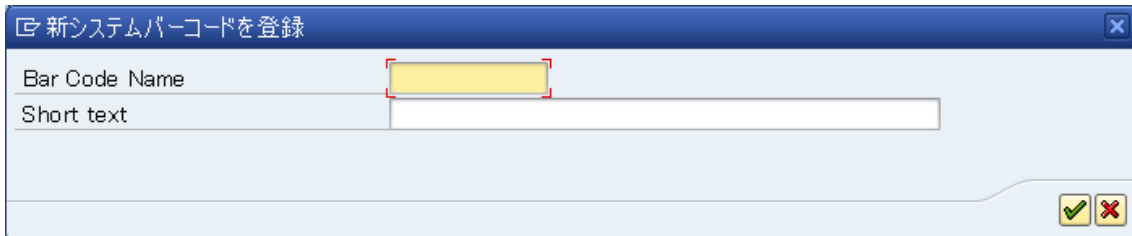


Figure 21 バーコード情報の登録

SATO プリンタでは ‘Bar Code Name’ で使用するバーコード名として先頭に ‘YST’ を付けることを推奨します。例では、Code39の定義に以下の名前を使用します。

YSTCd39

‘Short text’ に任意の説明を入力して下さい。チェックボタンを押し次へ進みます。

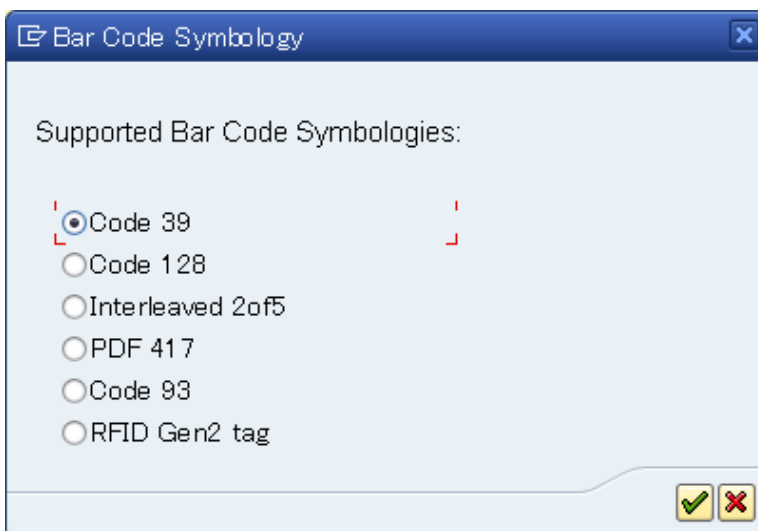


Figure 22 バーコード種の選択

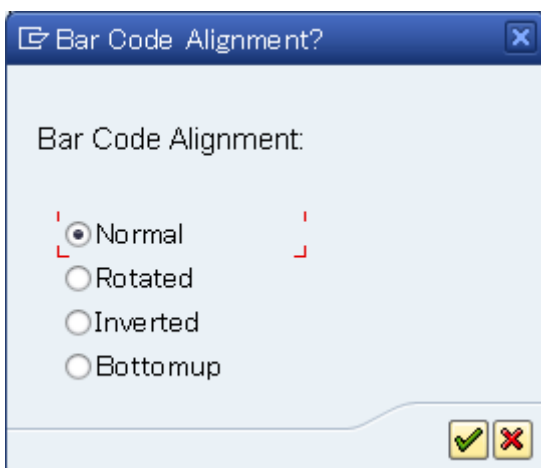


Figure 23 バーコードの印刷方向選択

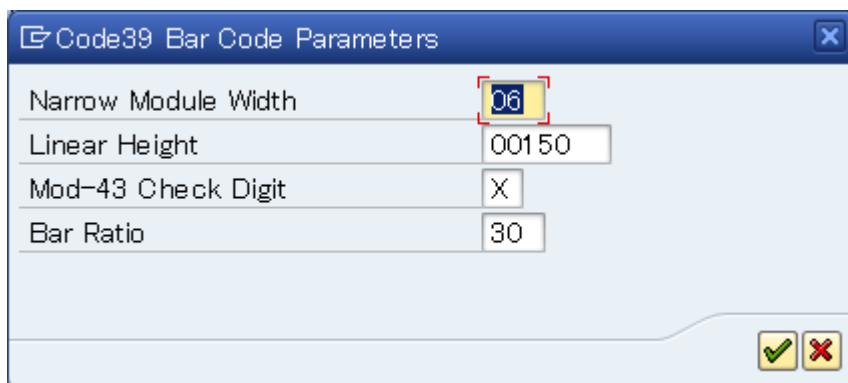


Figure 24 バーコード詳細情報入力

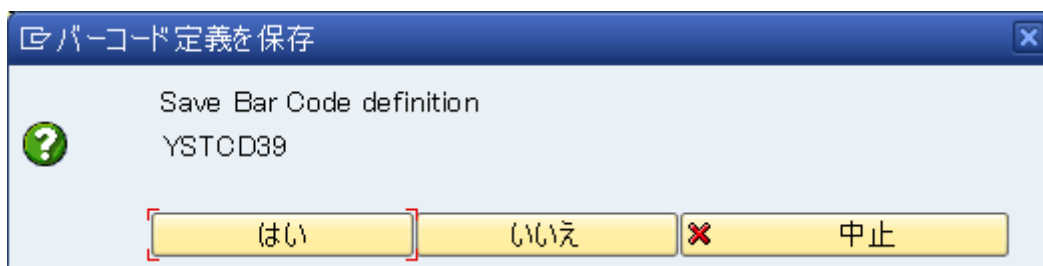


Figure 25 バーコード定義を保存

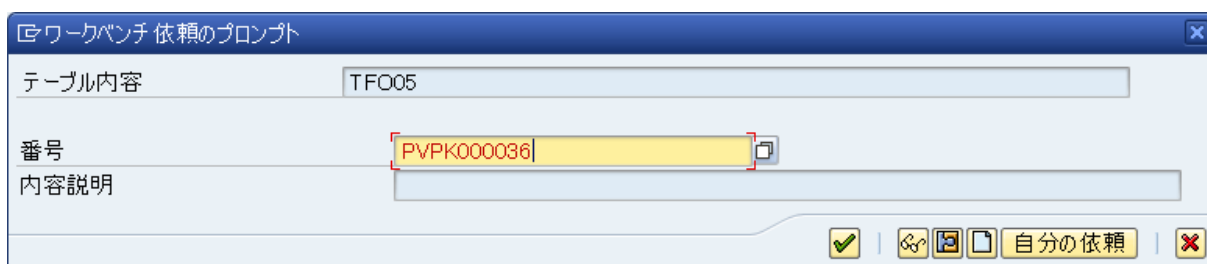


Figure 26 ワークスペースへの定義の保存

以上でシステムバーコードの定義は完了です。次のステップでは、Device Type でシステムバーコードを Printer Control にリンクさせる為のプリンタバーコードを定義します。

6.1.3 新バーコードテクノロジーの対応バーコード

SATO プリンタのバーコードコマンドに関する詳しい情報については、プリンタ付属のコマンドリファレンスを参照して下さい。

Code 39

このバーコードはスタートキャラクタとストップキャラクタに ‘*’ をセットします。データに ‘*’ が無い場合、SATO-SAP printer driver は ‘*’ を自動的に付加します。

不正なデータを与えた場合、プリンタは BEEP 音を鳴らします。

Code 93

このバーコードの最大入力データ数は99桁です。チェックデジットはプリンタが自動的に付加します。SATO-SAP printer driver はチェックデジットを付加しません。

Code 128

例として、データで ‘123456’ を与えた場合、SATO-SAP printer driver は以下の SBPL コマンドを生成します。 ... **BG03158>H123456**.

Code 128の印刷方法については [SAP Note: 645158](#) を参照願います。データが不正な場合、バーコードは印刷されない場合があります。

Interleaved 2 of 5

このバーコードに与えるデータは偶数桁でなければなりません。奇数桁のデータを与えた場合、SATO-SAP printer driver は先頭桁に ‘0’ を補填します。

例： 与える バーコードデータ値が ‘12345’ の場合、
印刷されるバーコード値は ‘012345’ になります。

PDF 417

最小のモジュール幅を01と02に設定できますが、モジュール幅が小さいためスキャナーがうまく読み取れない場合があります。

注意: PDF417 を回転印字した場合、実際の印刷結果とプレビューの結果で印字位置が異なる場合があります。その場合スマートフォームで位置の調整を行って下さい。

RFID Gen2 Tag

RFID Gen2では、以下に基づいてデータ入力します。

RFID 属性	バーコードデータフィールド
EPC value	EPC:xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx; (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx は12Byte を表す24桁の hex 値)
PC value	PC:xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx; (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx は12Byte を表す24桁の hex 値) (SATO Device Driver は非対応です)
USR value	USR:xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx; (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx は12Byte を表す24桁の hex 値)
ACS passcode	ACS:yyyyyyyyy; (yyyyyyyyy は4Byte を表す8桁の hex 値)
LOCKMASK	LM:yy; (yy は1Byte を表す2桁の hex 値) 0x01 – Lock EPC+PC 0x02 – Perma-lock EPC+PC 0x04 – Lock USR 0x08 – Perma-lock USR (SATO Device Driver は ‘Lock EPC’ と ‘Lock USR’ のみ対応します)
KILL passcode	KILL:yyyyyyyyy; (yyyyyyyyy は4Byte を表す8桁の hex 値)

Table 4 RFID 属性一覧

例 :

バーコードデータフィールドの内容	説明
EPC:F2A07895C1710708090A0B0C;	EPC の hex 値。
USR:F2A07895C171010203040506;EPC:019975F3ABB0010203040506;	USR バンクと EPC バンクの hex 値。
EPC:112233445566010203040506;ACS:1224489F;LM:01;	EPC バンクの数値。 ロック操作するための ACS パスコードは ‘1224489F’ です。 EPC+PC のメモリバンクをロックします。
EPC:1122334455660708090A0B0C;USR:0112248D8F060708090A0B0C;ACS:1234567A;LM:0A;	EPC バンクと USR バンクの数値。 PERMALOCK 操作するための ACS パスコードは ‘1234567A’ です。 MEPC+PC のメモリバンクを PERMALOCK します。
EPC:123456789ABC0708090A0B0C;KILL:1234567F;	EPC の数値。 KILL パスコードは ‘1234567F’ です。

Table 5 RFID 入力例

6.1.4 旧バーコードテクノロジー (従来のシステムバーコード)

‘新バーコードテクノロジー選択’画面で‘旧’ボタンを押すと旧バーコードテクノロジーでバーコードを定義します (Figure 20 新バーコードテクノロジー選択)。

バーコード	YSTEAN8
内容説明	SATO EAN 8 Barcode Ratio 1:3
バーコードタイプ	EAN8
最小文字数	7
最大文字数	8
バーコード幅	5.00
単位	CM
バーコードの縦幅	1.30
単位	CM
出力時回転	

Figure 27 旧バーコードテクノロジーでのバーコードの定義

旧バーコードテクノロジーはバーコードモジュール幅を定義する方法がありません。Print control ではそれらの情報が定義されています。Print Control が持つバーコードモジュール幅から選択します。

6.1.5 旧バーコードテクノロジーの対応バーコード

Interleaved 2 of 5

このバーコードに与えるデータ桁数は偶数桁でなければなりません。奇数桁のデータを与えた場合、SATO-SAP printer driver は先頭桁に‘0’を補填します。

例： 与えるバーコードデータ値が‘12345’の場合、
印刷されるバーコード値は‘012345’になります。

CODABAR

このバーコードはスタート/ストップキャラクタ (A,B,C,D,E,N,T,a,b,c,d,e,n,t) を含めます。スタート/ストップキャラクタを含まないデータを与えた場合、SATO-SAP printer driver はスタート/ストップキャラクタとして‘A’を自動付加します。

POSTNET

SATO-SAP printer driver は以下のフォーマットの US Postal Service POSTNET barcode をサポートします。

- 5 桁 (Postnet-32 format)
- 6 桁 (Postnet-37 format)
- 9 桁 (Postnet-52 format)
- 11 桁 (Postnet-62 Delivery Point format)

その他のフォーマットデータを与えた場合、プリンタは beep 音でコマンドエラーを通知します。

UPC Barcode Type A

このバーコードは 11 桁 (データ) + 1 桁 (チェックデジット) で構成します。12 桁のデータを与えた場合、SATO-SAP printer driver は 12 桁目をチェックデジットと見なします。11 桁のデータを与えた場合はチェックデジットを付加します。

EAN 8 Barcode

このバーコードは7桁（データ）+1桁（チェックデジット）で構成します。8桁のデータを与えた場合、SATO-SAP printer driver は8桁目をチェックデジットと見なします。7桁のデータを与えた場合はチェックデジット（モジュラス10）を付加します。

EAN 13 Barcode

このバーコードは12桁（データ）+1桁（チェックデジット）で構成します。13桁のデータを与えた場合、SATO-SAP printer driver は13桁目をチェックデジットと見なします。12桁のデータを与えた場合はチェックデジット（モジュラス10）を付加します。

Code 39

Code39は以下のキャラクターが使用可能です。

数字: 1234567890
文字: ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
記号: - . \$ / + %
空白(space)

このバーコードのスタート/ストップキャラクタはアスタリスク (*) で表します。

データにスタート/ストップキャラクタ '*' が付加されている場合、SATO-SAP printer driver はチェックデジットを生成しません。

Code 93

Code93は以下のキャラクターが使用可能です。

数字: 1234567890
文字: ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
記号: - . \$ / + %
空白(space)

6.1.6 プリンタバーコードの定義

システムバーコード（旧テクノロジー）で定義した後、プリンタバーコードを定義します。

注意: この操作は新バーコードテクノロジーでは不要です。

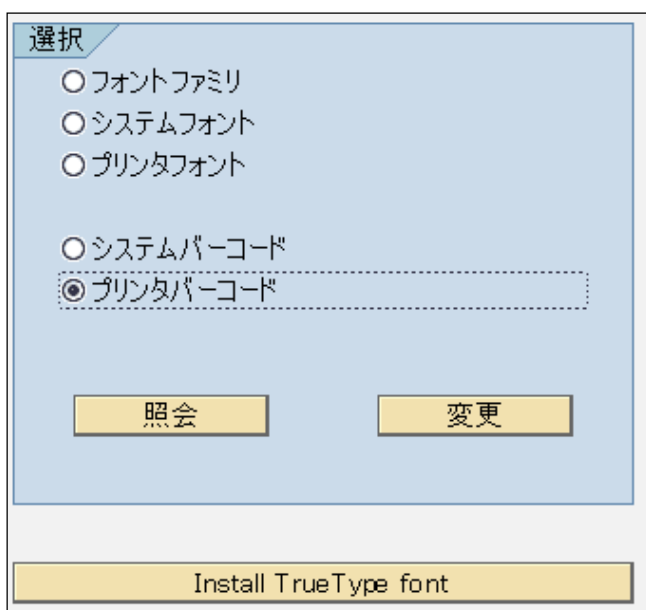


Figure 28 プリンタバーコードの定義

‘プリンタバーコード’ を選択し ‘変更’ ボタンを押しプリンタバーコードを定義します。

SAPscript フォント更新: プリンタバーコード変更	
印刷制御コード	
Dev. タイプ	内容説明
YMR70CS1	Muratec OP700/PS700 PS ISO1
YMR70DL1	Muratec OP-700 POSS PCL ISO1
YMRV50L	MuratecV-2350/2850 PCL POSS JP
YMRV50S	Muratec V-2350/2850 PS POSS JP
YOKI9XX	OKI C9xxx R4.5+
YPRP7000	PTX P7000 P-Series Emul.
YPTP7000	PTX P7000 P-Series Emul.
YPTP7PG1	PTX P7000 PGL Emul.
YPTT4203	PTX T4203 PGL Emul.
YPTT4305	PTX T4305 PGL Emul.
YSTCHANK	SATO 609dpi Simplified Chinese
YSTCPCL2	SATO 203dpi CP850
YSTCPCL3	SATO 305dpi CP850
YSTCPCL6	SATO 609dpi CP850
YSTCPCX2	SATO CX 203dpi CP850
YSTCPCX3	SATO CX 305dpi CP850
YSTCPDR2	SATO DR 203dpi CP850
YSTCPLM2	SATO 203dpi CP850 LM408e
YSTCPLM3	SATO 305dpi CP850 LM412e
YSTENGL2	SATO GL 203dpi English
YSTENGL3	SATO GL 305dpi English
YSTENGT2	SATO GT 203dpi English
YSTENGT3	SATO GT 305dpi English
YSTENGT6	SATO GT 609dpi English
YSTENSR2	SATO SR 203dpi English
YSTENSR3	SATO SR 305dpi English
YSTENSR6	SATO SR 609dpi English

Figure 29 プリンタバーコード用のデバイスリスト

使用する SATO Device Type（先頭に ‘YST’ が付いた名前）をダブルクリックします。

SAPscript フォント更新: プリンタバーコード変更					
印刷制御コード更新					
Dev. タイプ	バーコード	接頭辞	接尾辞	基準行位置揃え	
YSTLTGL3	BC_CD39C	SB503	SB503	<input type="checkbox"/>	
YSTLTGL3	BC_EAN13	SB143	SB143	<input type="checkbox"/>	
YSTLTGL3	BC_I25C	SB124	SB124	<input type="checkbox"/>	
YSTLTGL3	YST2OF5	SB121	SB121	<input type="checkbox"/>	
YSTLTGL3	YSTD MX01	SB013	SB014	<input type="checkbox"/>	
YSTLTGL3	YSTGS128	SB012	SB012	<input type="checkbox"/>	

Figure 30 SATO Device Type のプリンタバーコードリスト

‘登録(F5)’ ボタンを押して、新たにプリンタバーコードを定義します。

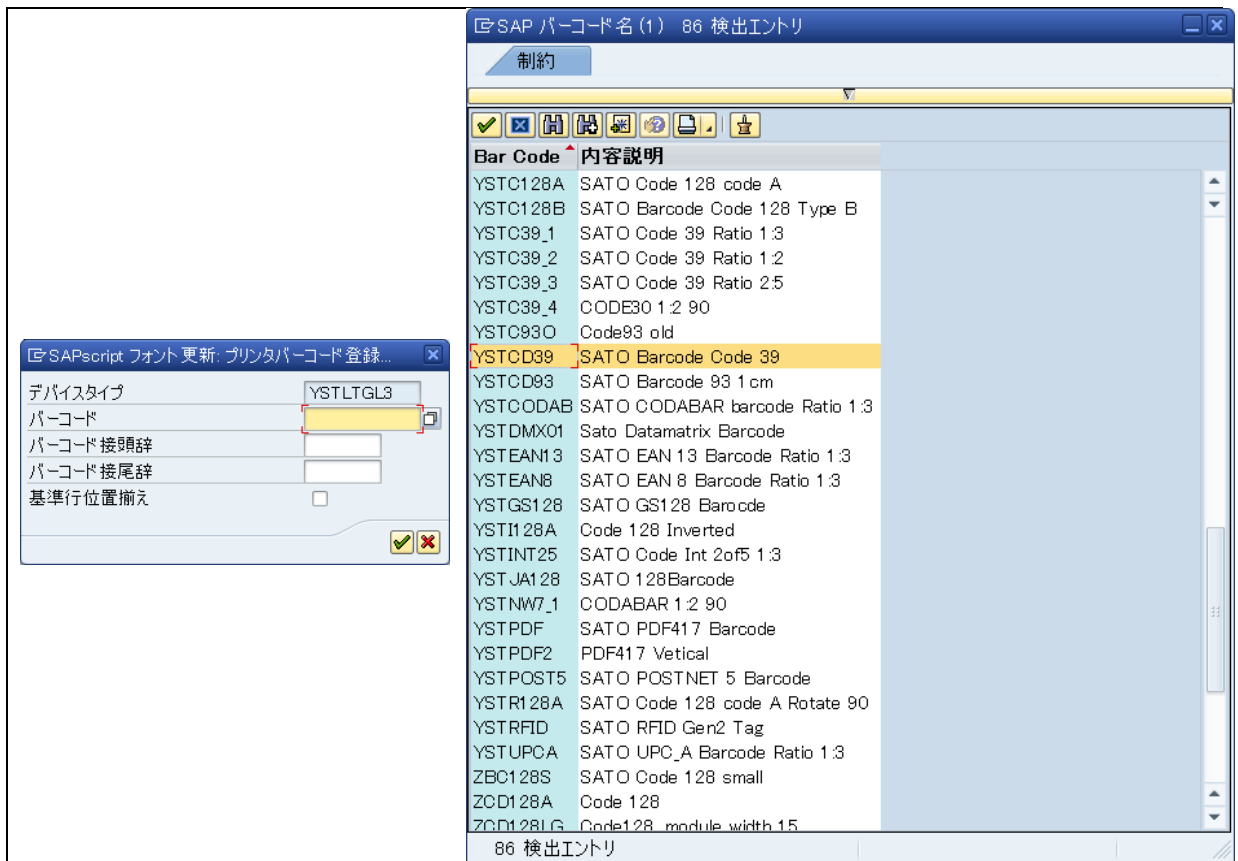


Figure 31 プリンタバーコードの定義

エントリーリストから必要なシステムバーコードを選択します。

注意: ‘バーコード接頭辞’ と ‘バーコード接尾辞’ には同じ Print Control を指定して下さい。

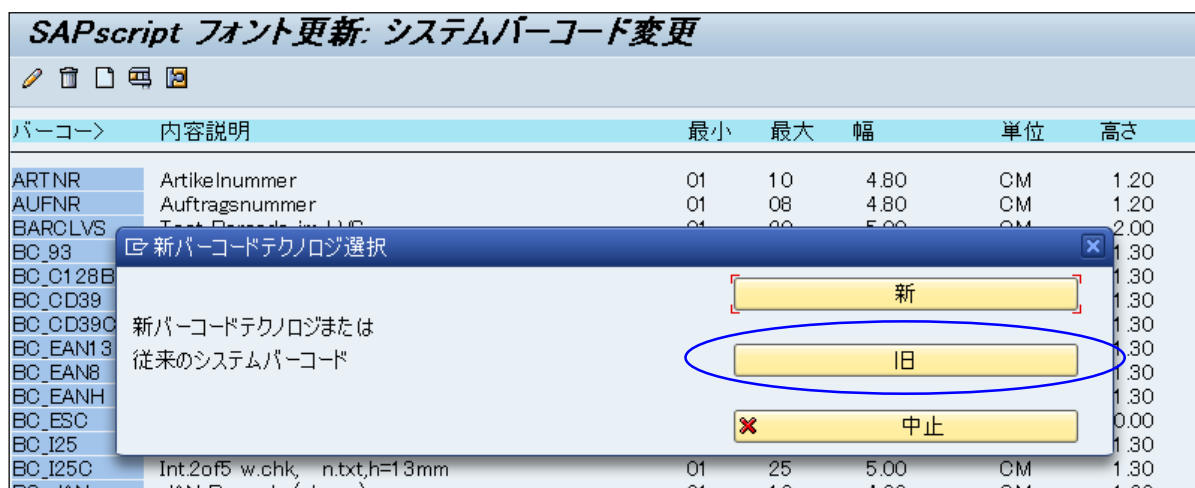
Device Type に定義された利用可能な Print control については [Table 3 Barcode Print Control 一覧](#) を参照願います。

6.1.7 UNDEF を使ったカスタマイズバーコード

この手法は高度なユーザのみご利用頂くようご注意ください。ご質問等ございましたら弊社テクニカルチーム (<https://sato-globalhelp.zendesk.com/hc/en-001/requests/new>)へお問い合わせ下さい。

プリンタ内蔵バーコードフォント（GS-128等）がSAPでサポートされていない場合、カスタマイズされたPrintControlをDeviceTypeへ追加することができます。そして”UNDEF”バーコードタイプを使ってマッピングすることができます。

UNDEFは旧バーコードテクノロジーでのみ使用できます。UNDEFを使うには‘SE73->システムバーコード’へ進み従来のシステムバーコード（‘旧’を選択）で定義します。



6.1.7.1 UNDEF を使った GS1-128 バーコード



Figure 32 カスタマイズバーコードの定義

- i. カスタマイズバーコードの定義を作成します。
 ‘SE73->システムバーコード’へ進みGS1-128バーコードの定義を作成します。
 (Figure 32 カスタマイズバーコードの定義)
 ‘バーコードタイプ’には‘UNDEF’を指定して下さい。
 ‘バーコード幅’の値は反映されませんのでご注意ください。

- ii. DeviceType に PrintControl を作成します。



Figure 33 デバイスタ입画面での印刷制御コードの定義

‘SPAD->全体管理->デバイスタ입’ を選択して ‘デバイスタ입(変更)->印刷制御コード’ を開きます。‘制御コードシーケンス’ に Hex 値を入力し新規バーコード PrintControl (接頭辞 SB) を追加します。

この例では PrintControl SB012に Hex 値で ‘<Esc>EU1203’ を入力しています。

この Print Control はサトバーコードコマンドの GS1-128(UCC/EAN128) CC-C バー幅3ドットで定義しています。バーコードの高さはバーコード定義 (Figure 32 カスタマイズバーコードの定義) で指定された値を使用します。バーコードデータはスマートフォーム又は SAP Database から供給されます。

- iii. Print Control にバーコード定義をマッピング

‘SE73->プリンタバーコード’ に進みます。



Figure 34 Print Control のマッピング

デバイスタイプをクリックして Print Control にバーコードマッピングを追加します。



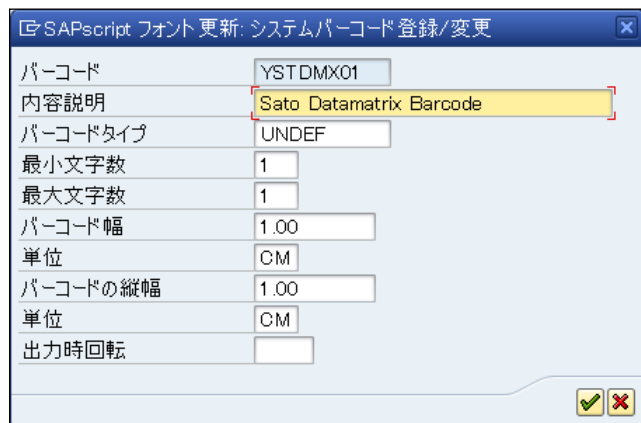
Figure 35 Print Control のマッピング

6.1.7.2 UNDEF を使った GS1 Datamatrix Barcode

6.1.7.2.1 バーコード定義の作成

注意:

1. バーコード名称は必ず"YSTDMX"で始まる文字を指定して下さい。これは SATO Device Driver が DataMatrix のバーコード定義として認識するためです。
2. 'バーコードタイプ' は必ず UNDEF を指定して下さい。
3. '出力時回転' を除くその他のパラメータは SATO Device Driver の DataMatrixBarCode 印刷には使用されません。



6.1.7.2.2 Device Type へ Printer Control 情報を定義する

スプール管理: デバイスタイプ (変更)

デバイスタイプ: YSTLTGL3 名称: SATO GL 305

属性 印刷制御コード

印刷制御の選択

印刷制御コード	名称	即時	拡...	無...	変...	16 ...	Acti...	制御コードシーケンス
	SABLD	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	SAOFF	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	SB011	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	1 B455531 31
	SB012	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	1 B455531 32
	SB013	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	1 B42583031 323031 3631 363039363039363030341 B4443
	SB014	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	SB1 01	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	1 B42303031
	SB1 02	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	1 B42303032

SB013は以下のサトープリンタコマンドを接頭辞として定義します。

フォント ID : 01
 エラールゲションレベル : 20(ECC200)
 セル幅 : 02
 セルピッチ : 02
 1 行のセル数 : 000
 セルライン数 : 000
 ミラーイメージ : ノーマル (通常印字)
 <ESC> B X 0 1 2 0 0 2 0 2 0 0 0 0 0 0 0 0 1
 <ESC> D C

バーコードの高さと幅はセル幅とセルピッチの指定により決定します。

例 1)

セル幅 : 05、セルピッチ : 05
 <Esc> B X 0 1 2 0 0 5 0 5 0 0 0 0 0 0 0 0 1
 印字イメージ :



例 2)

セル幅 : 09、セルピッチ : 09
 <Esc> B X 0 1 2 0 0 9 0 9 0 0 0 0 0 0 0 0 1
 印字イメージ :



6.1.7.2.4 GS1 Datamatrix コマンドの FNC 特殊文字

FNC 特殊文字を含むコマンドの作成方法は上記の特殊文字を含まないコマンドの作成と同じですが、以下に留意して下さい：

- バーコード名称は必ず" **YSTQDM** "で始まる文字を指定して下さい
- 最後の FNC 特殊文字を生成するスマートフォームのタグは"***FNC***" でなければなりません。



- <ESC>2D51, 10, 10, 000, 000<ESC>DN コマンドを Hex 文字列で表示した例：
"1B324435312C31302C31302C3030302C3030301B444E".

コマンド書式

<2D51>, aa, bb, ccc, ddd

パラメータ：

- a [セル横幅] = 有効範囲：01 - 99 dots
- b [セル高さ] = 有効範囲：01 - 99 dots
- c [1行あたりのセル数] = 有効範囲：010 - 144000：(自動設定)
- d [セル行数] = 有効範囲：008 - 144 000：(自動設定)

データ部

<DN>mmm, n~n

パラメータ：

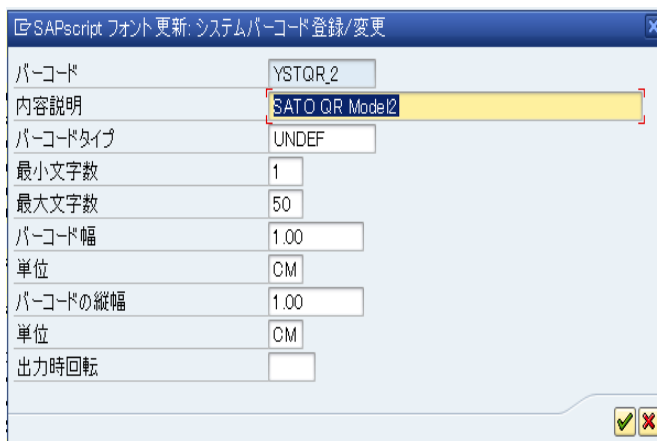
- m [データ数] = 有効範囲：1 - 3116
- n [印刷データ] = データ

6.1.7.3 UNDEF を使った QR Code

6.1.7.3.1 バーコード定義の作成

注意：

1. バーコード名は必ず
" **YSTQR_** " から始まる文字列
にして下さい。これは SATO
Device Driver が QR Code のバ
ーコード定義として認識するた
めです。
2. 'バーコードタイプ' は必ず
UNDEF を指定して下さい。
3. '出力時回転' を除くその他の
パラメータは SATO Device
Driver の QR Code 印刷には使
用されません。



6.1.7.3.2 Device Type へ Printer Control 情報を定義する

スプール管理: デバイスタイプ (照会)

スプール書式 | 印刷制御コード情報

デバイスタイプ: YSTENGL3 名称: SATO GL 305dpi English

属性 | 印刷制御コード

印刷制御の選択

印刷制御コード	名称	即時	拡...	無...	変...	16...	Acti...	制御コードシーケンス	参照
SB015		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1B324433302c4d2c30352c312c301b444e	
SB1 01		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1B42303031	
SB1 02		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1B42303032	
SB1 03		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1B42303033	
SB1 04		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1B42303034	
SB1 05		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1B42303035	
SB1 06		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1B42303036	
SB1 07		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1B42303037	
SB1 08		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1B42303038	

SB015は以下のサトープリンタコマンドを接頭辞として定義します。:

コマンド記述

Hex: 1B324433302c4d2c30352c312c301b444e

ASCII: 2D30,M,05,1,0DN

コマンド書式: <2D30>,a,bb,c,d

SBPL コマンド: <ESC>2D30

パラメータ:

- a エラーコレクションレベル = L: 7%, M: 15%, Q: 25%, H: 30%
- b セルサイズ= 01 - 32 dots
- c データ設定モード = 0: 手動, 1: 自動
- d 連結モード = 0:通常, 1 連結モード (1を指定時は更にパラメータが要求されます。)

データ部

コマンド書式: <DN>mmmm,n-n

SBPL コマンド: <ESC>DN

パラメータ:

- m データ数 = 1 - 2953
- n データ = 印字データ

6.1.7.3.3 Print Control にバーコード定義をマッピングする

‘SE73->プリンタバーコード’ に進みデバイスタイプのマッピングを作成します。

Dev. タイプ	バーコード	接頭辞	接尾辞	基準行位置揃え
YSTENGL3	BC_CD39C	SB503	SB503	<input type="checkbox"/>
YSTENGL3	BC_EAN13	SB143	SB143	<input type="checkbox"/>
YSTENGL3	BC_I25C	SB124	SB124	<input type="checkbox"/>
YSTENGL3	YST2OF5	SB121	SB121	<input type="checkbox"/>
YSTENGL3	YSTDMX01	SB013	SB014	<input type="checkbox"/>
YSTENGL3	YSTGS128	SB012	SB012	<input type="checkbox"/>
YSTENGL3	YSTQR_2	SB015		<input type="checkbox"/>

作成したバーコード定義を選択して、Print Control にマッピングしてください。

6.1.7.4 RFID “ESC+IP0e:h,epc:” コマンド

旧バーコードテクノロジーの“IP0_1”を作成します – このドキュメントの旧バーコードテクノロジーの項目を参照し、バーコード名は“IP0_”の値で開始、‘バーコードタイプ’は UNDEF を指定して作成して下さい。

“ESC+AESC+IP0e:h,epc:”を意味する16進数の文字列“1B411B495030653A682C6570633A”を選択したデバイスタイプの印刷制御に配置して下さい。

“ESC+IP0e:h,epc:”のみを入力したい場合は HEX 値の最初の2文字(1B41)を削除して下さい。

44桁の文字列をスマートフォームにセットします:

```
"31004A00440041003100370031003400350037003600;"
```

生成された RFID コマンドがプリンタに送信されます:

```
"ESC+AESC+IP0e:h,epc:31004A00440041003100370031003400350037003600;"
```

6.2 フォント

SATO-SAP Printer Driver がサポートするフォントは以下の通りです。

Latin 1 (ISO8859-1 codepage) device types:

SAP Font	SATO Font	Type	SBPL Command
HELVETICA	CG Triumvirate	Scalable	ESC+RDB
TIMES	CG Times	Scalable	ESC+RDA

English only device types:

SAP Font	SATO Font	Type	SBPL Command
HELVETICA	CG Triumvirate	Scalable	ESC+RDB
TIMES	CG Times	Scalable	ESC+RDA
COURIER BOLD (optional Italic)	Helvetica Outline Font, fixed character pitch	Scalable	ESC+\$B, ESC+\$\$=
LETGOTH	SATO Fixed Size M Font	Bitmap, fixed size	ESC+M
LNPRINT	SATO Fixed Size S Font	Bitmap, fixed size	ESC+S

Codepage 850 device types :

SAP Font	SATO Font	Type	SBPL Command
HELVETICA	CG Triumvirate	Scalable	ESC+RDB
TIMES	CG Times	Scalable	ESC+RDA
COURIER BOLD (optional Italic)	Helvetica Outline Font, fixed character pitch	Scalable	ESC+\$B, ESC+\$\$=

Korean (Wangsung Encoding/Unicode) device types:

SAP Font	SATO Font	Type	SBPL Command
KPBATANG Proportional	HYR Gothic-Medium	Scalable	ESC+RDK

Simplified Chinese (GB2312/Unicode) device types:

SAP Font	SATO Font	Type	SBPL Command
CNSONG Proportional	MKaiSO-Medium-U	Scalable	ESC+RDC

Traditional Chinese (Big 5/Unicode) device types:

SAP Font	SATO Font	Type	SBPL Command
TWSONG Proportional	MHeiS-Bold -U	Scalable	ESC+RDc

Japanese (Shift-JIS) + English ASCII device types:

SAP Font	SATO Font	Type	SBPL Command
DBGothic, DBMincho, JPMincho	SATO Japanese resident bitmap font	Bitmap, fixed size	ESC+K
HELVETICA *2	CG Triumvirate	Scalable	ESC+RDB
TIMES *2	CG Times	Scalable	ESC+RDA
COURIER BOLD *1 (optional Italic)	Helvetica Outline Font, fixed character pitch	Scalable	ESC+\$B, ESC+\$\$=

注意: *1 YSTJAPT_x は非対応です。 *2 YSTJALP_x は非対応です。

Table 6 SATO-SAP Printer Driver がサポートするフォント

SATO プリンタの内蔵フォントサイズについては8.2 Font Print Control 一覧を参照願います。

注意:

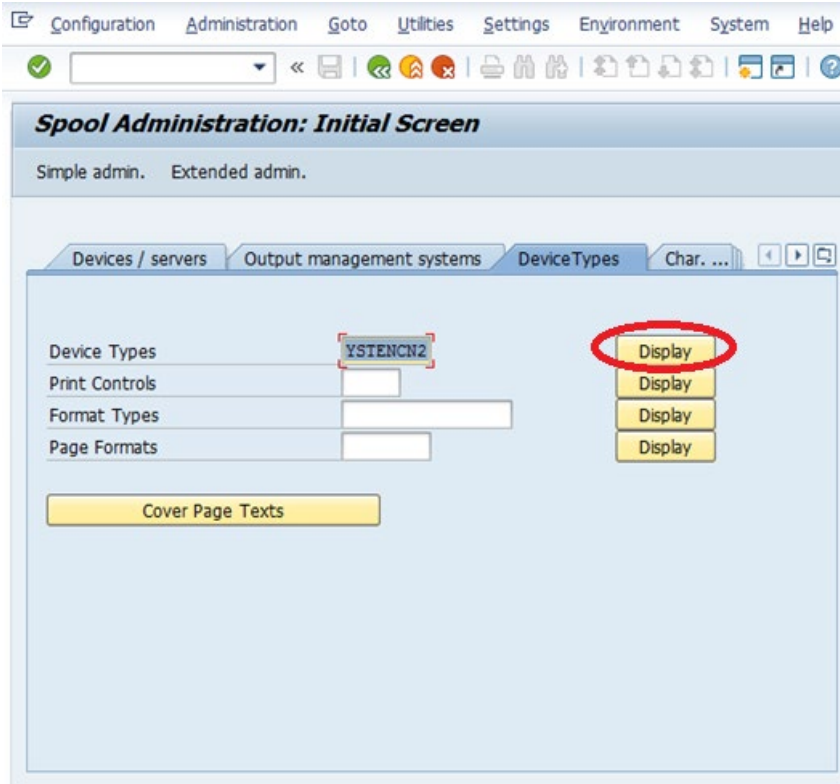
1. SATO 203dpi プリンタは8ポイント以下のサイズの Courier Font (ESC+\$A, ESC+\$B, ESC+\$=)をサポートしません。わずかに大きいサイズで印刷されます。
2. スマートフォーム上の表示と印刷結果の文字列長は異なる場合があります。これは SAP フォントのポイントサイズから SATO プリンタフォントのドットサイズに変換する処理においてわずかな差が生じるためです。
3. 日本語テキストを SATO プリンタのビットマップフォントで出力する場合、スマートフォーム上のプレビュー表示は実際の印刷結果よりも文字列の全幅が短くなる場合があります。これは SAP 日本語フォントの1バイト文字の文字幅が2バイト文字の幅の0.5倍であるのに対し、プリンタ内蔵の日本語フォントは2バイト文字の幅の0.6倍のためです。

6.2.1 NX シリーズ向け Unicode の印刷

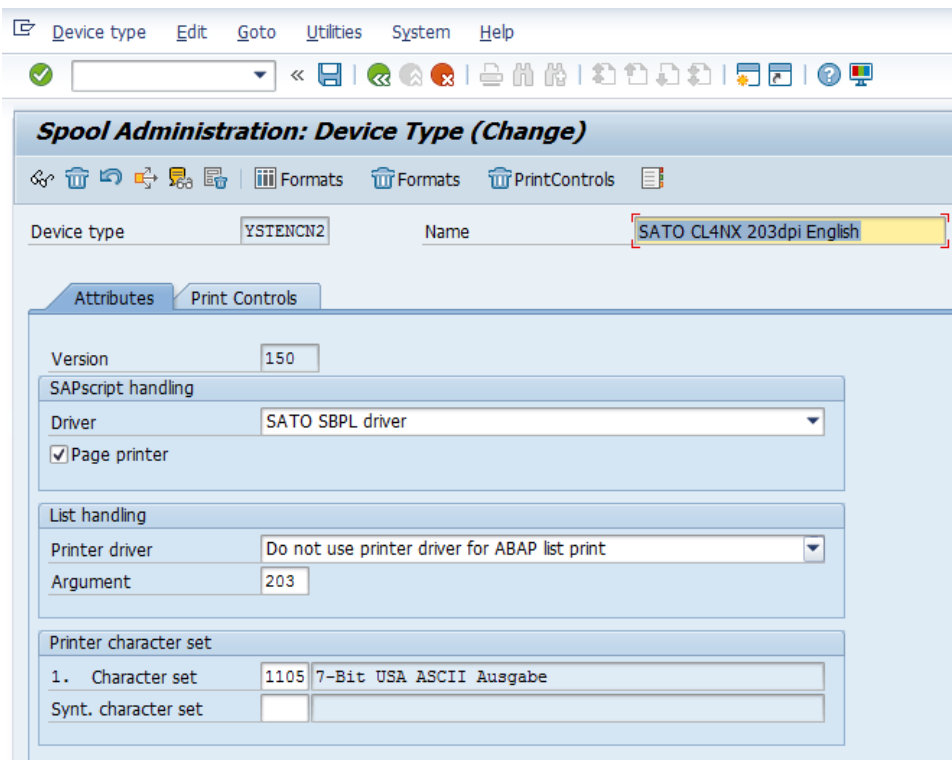
デバイスタイプを使用して Unicode の印刷を行います。NX シリーズで使用可能です。

プリンタフォントの作成

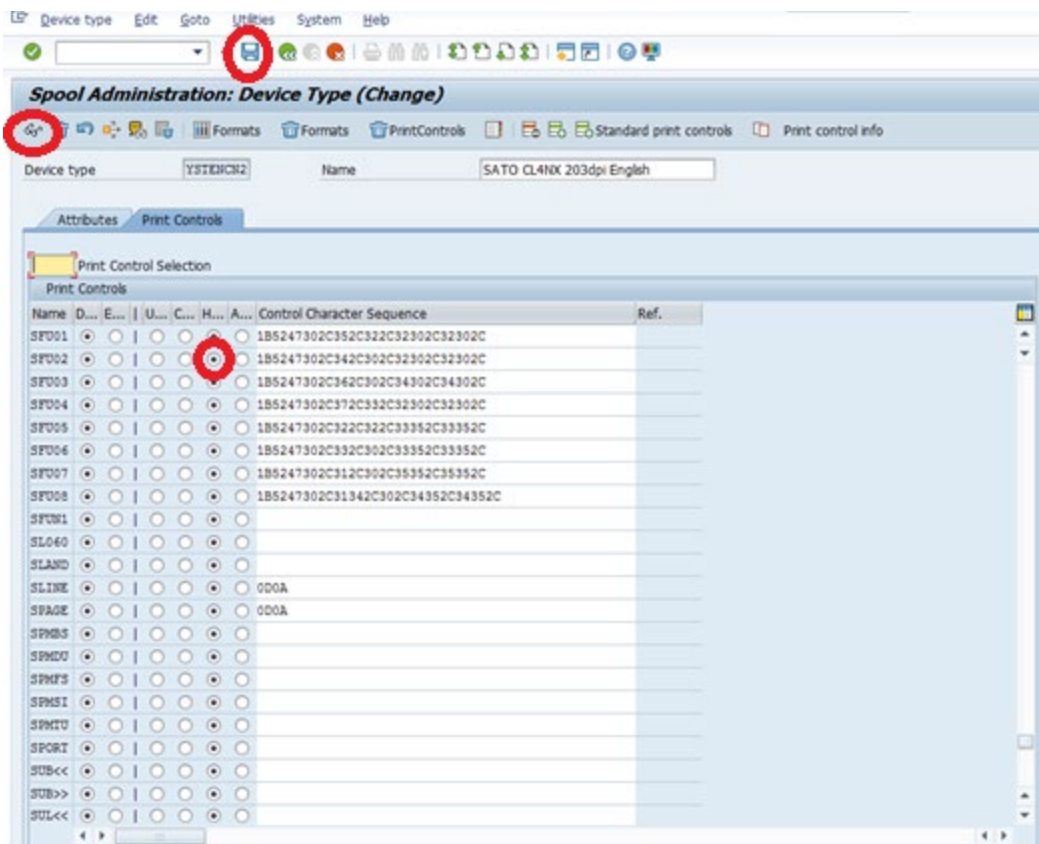
スプール管理画面を開き、使用するデバイスタイプを選択します。



“Print Controls”タブを選択します。

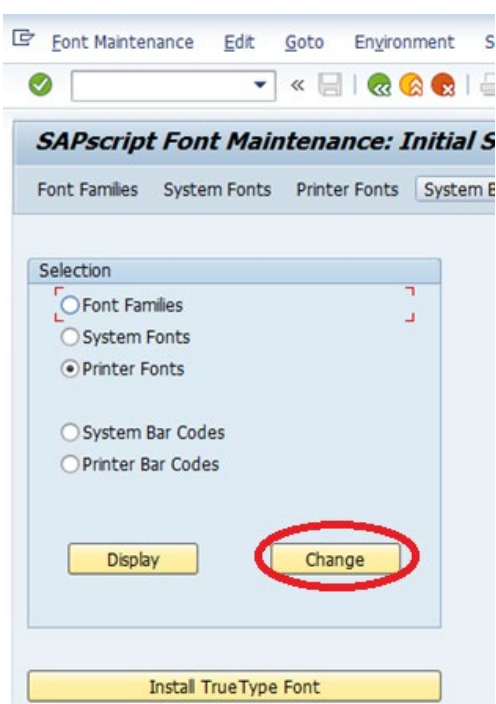


‘変更’ボタンを押して編集を行います。名称に新規に“SFU01”などの名前を入力し、16進ラジオボタンにチェック、‘制御コードシーケンス’に正しく値を入力し、‘保存’ボタンを押します。16進の値については後で詳細を説明します。

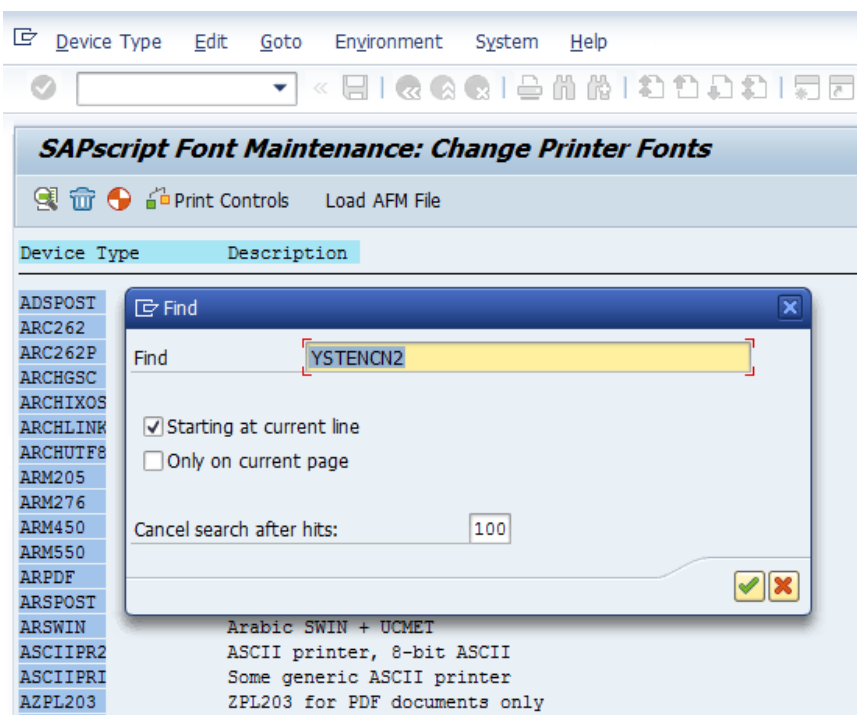


制御コードシーケンス名は“SFU”+“2桁の数字”の形式にする必要があります。例：“SFU01”，“SFU02”，“SFU15” など。

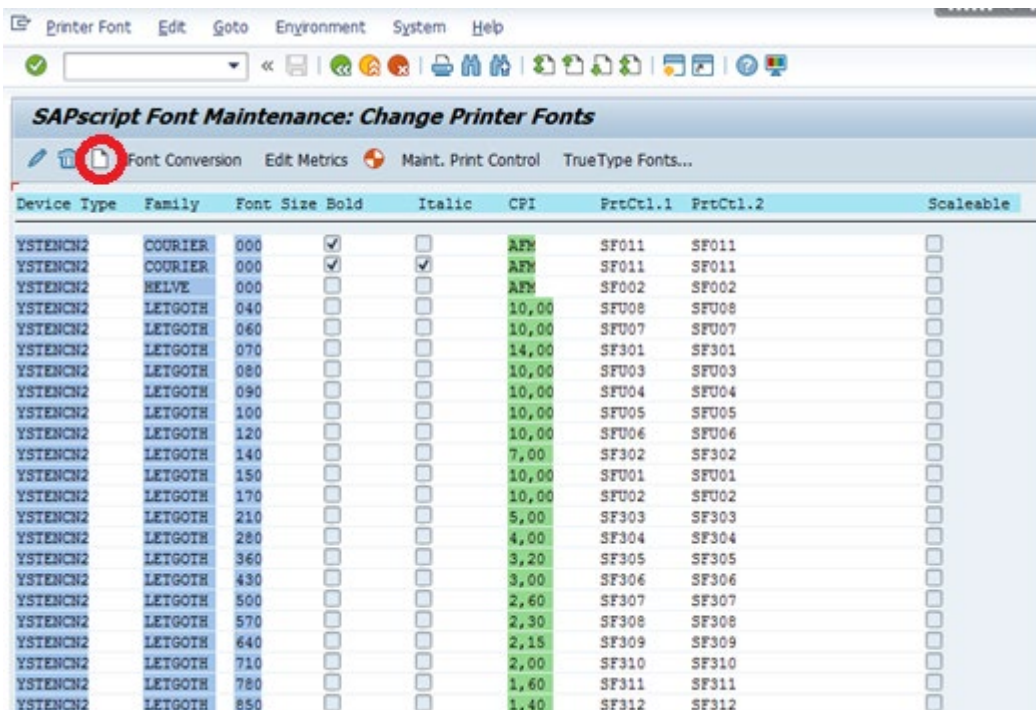
SE73トランザクションを使用して、“プリンタフォント”を選択し、“変更”ボタンをクリックします。



CTRL+F でデバイスタイプの検索を行い、該当のデバイスタイプをクリックします。



新規フォントの作成を行います。



必要な項目に入力を行います。“Font is Scalable”のチェックを外し、“Font Size”を指定するようにして下さい。(例:180=18 この値を後でスマートスタイルで使用します。) Unicode コマンド用の Print Control の名称を正しく記入して下さい(例:SFU01)。次にフォントファミリーを指定します。ここでは LETGOTH を使用しますが、COURIER などの他のビルトインのフォントも指定可能です。

Unicode (2バイト) 文字の使用は、スマートフォーム内でスマートスタイルのタグを作成し、スマートスタイルでフォントとサイズを指定して作成されたタグを呼び出すことで行います。

(フォントの呼び出しは、下記の画面に表示されるフォントを参照下さい。フォントは SFU タグのコマンドパラメータをドライバに渡します。)

スマートスタイルのタグの中のフォントの情報はスマートスタイルが正しい SFU Print control を呼び出すために一意である必要があります。同じパラメータを持つフォントが2つ存在すると(例: LETGOTH 150が2つ)スマートフォームは正しくタグの認識を行うことができません。そのため、スマートスタイルのタグは一意のフォントである必要があります。

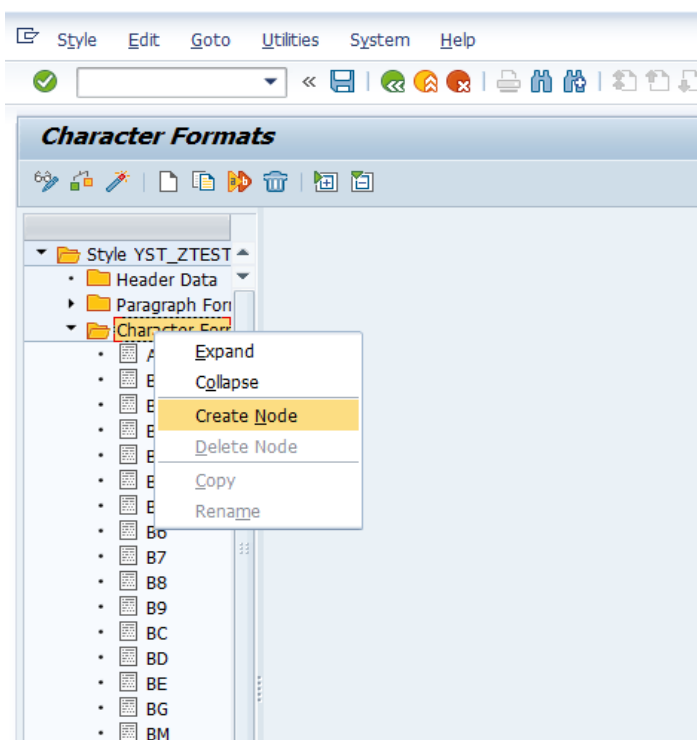
スマートフォームは作成されたスマートスタイルのタグを呼び出し、タグは指定のデバイスタイプにある Printer Control(16進数コマンドがドライバにコマンドを渡します)を参照して一意のデバイスタイプフォントを呼び出します。スマートフォームの印刷時に、スマートフォームがタグを呼び出し、出力デバイスが指定されたデバイスタイプを参照することで、最終的に Unicode 文字の印刷が行われます。

The screenshot shows the 'SAPscript Font Maintenance: Change Printer Fonts' dialog box. The main window displays a table with columns: Device Type, Family, Font Size, Bold, Italic, CPI, PrtCtl.1, PrtCtl.2, and Scaleable. The table lists various font configurations for device YSTENCN2, including COURIER, HELVE, and LETGOTH in different sizes and styles. A modal dialog box is open over the table, showing the configuration for the selected font: Device type (YSTENCN2), Font Family (LETGOTH), Font Size (180), Bold (unchecked), Italic (unchecked), Characters per Inch (10,00), Print control 1 (SFU09), Print control 2 (SFU09), and Font is scalable (unchecked).

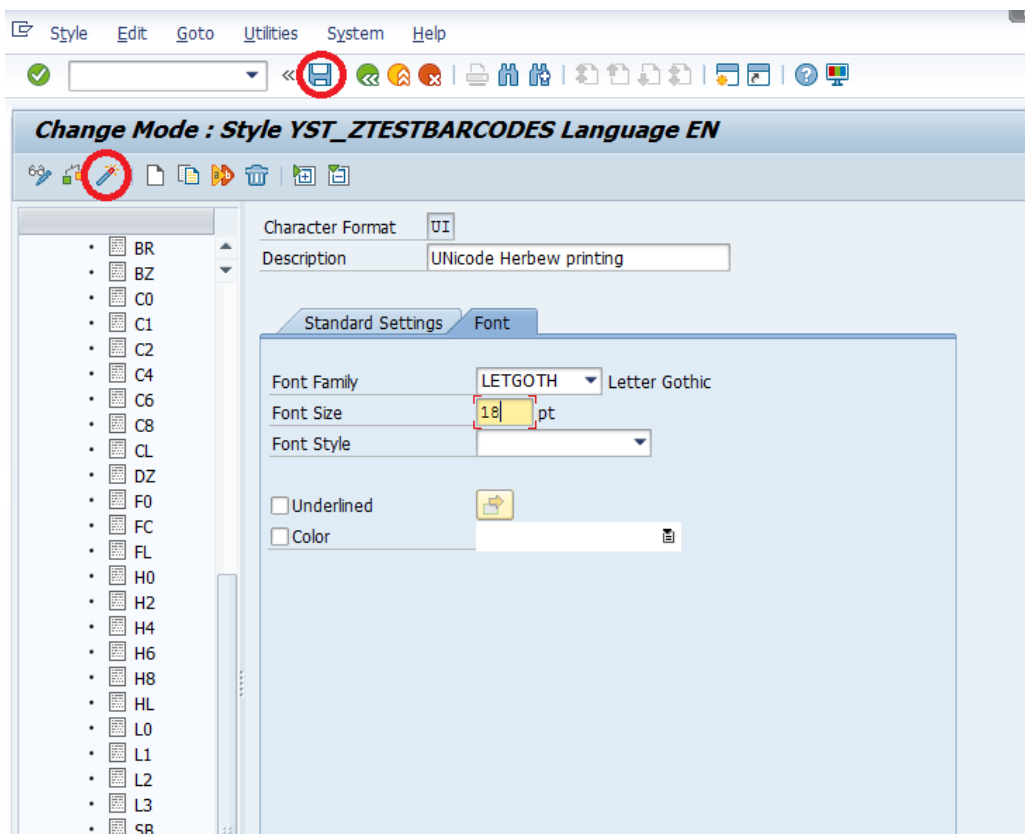
Device Type	Family	Font Size	Bold	Italic	CPI	PrtCtl.1	PrtCtl.2	Scaleable
YSTENCN2	COURIER	000	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	AFM	SF011	SF011	
YSTENCN2	COURIER	000	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	AFM	SF011	SF011	
YSTENCN2	HELVE	000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	AFM	SF002	SF002	
YSTENCN2	LETGOTH	040	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10,00	SFU08	SFU08	
YSTENCN2	LETGOTH	060	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10,00	SFU07	SFU07	
YSTENCN2	LETGOTH	070	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14,00	SF301	SF301	
YSTENCN2	LETGOTH	080	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10,00	SFU03	SFU03	
YSTENCN2	LETGOTH	090	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10,00	SFU04	SFU04	
YSTENCN2	LETGOTH	100	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10,00	SFU05	SFU05	
YSTENCN2	LETGOTH	120	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10,00	SFU06	SFU06	
YSTENCN2	LETGOTH	140	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7,00	SF302	SF302	
YSTENCN2	LETGOTH	150	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10,00	SFU01	SFU01	
YSTENCN2	LETGOTH	170	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10,00	SFU02	SFU02	
YSTENCN2	LETGOTH	210	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5,00	SF303	SF303	
YSTENCN2	LETGOTH	280	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4,00	SF304	SF304	
YSTENCN2	LETGOTH	360	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3,20	SF305	SF305	
YSTENCN2	LETGOTH	430	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3,00	SF306	SF306	
YSTENCN2	LETGOTH	500	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2,60	SF307	SF307	
YSTENCN2	LETGOTH	570	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2,30	SF308	SF308	
YSTENCN2	LETGOTH	640	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2,15	SF309	SF309	
YSTENCN2	LETGOTH	710	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2,00	SF310	SF310	

スマートスタイルのタグの作成

下記がスマートスタイルのタグの作成方法となります。

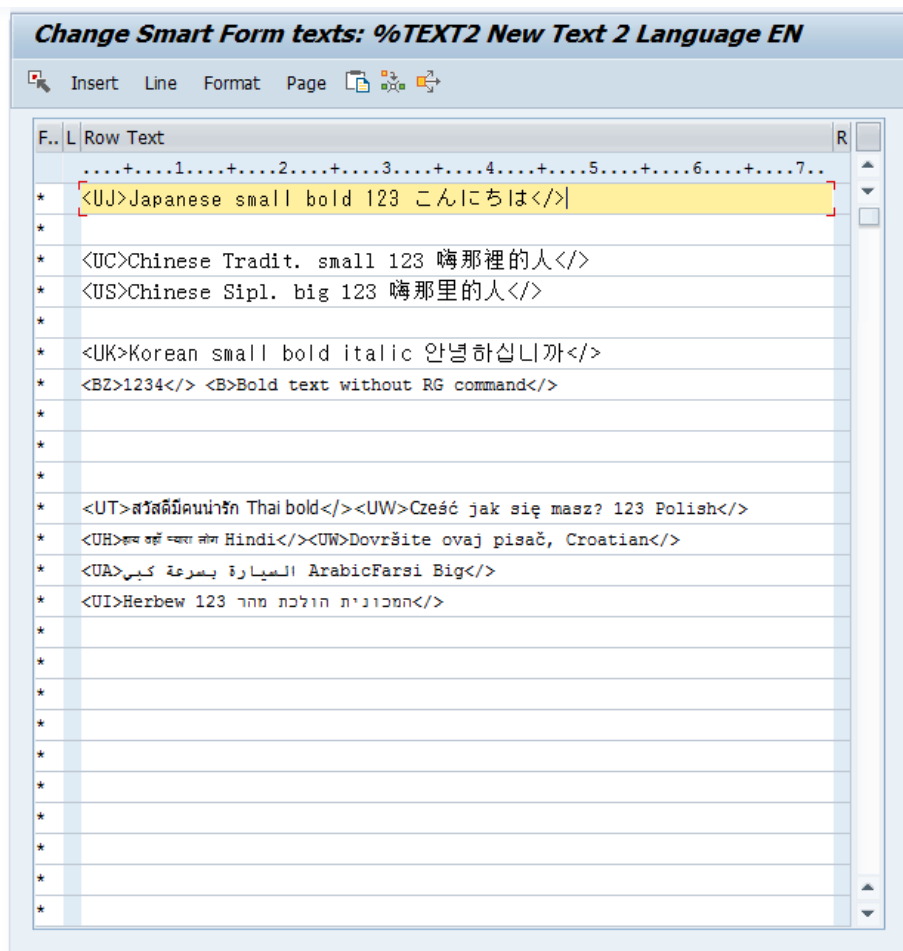


スマートスタイルで正しいフォントのタグを選択します。選択後、'保存'、'アクティベート'を必ずクリックして下さい。



フォントファミリーは、フォント管理画面で指定したのと同じ物を選択して下さい。この画面でのフォントサイズ18はフォント管理画面で指定した180と同じ物となります。

上記の設定をスマートスタイルで行うことで、スマートフォームから Unicode のタグを呼び出すことが可能となります。



スマートフォームのテキスト内容



スマートフォームのラベル印刷結果

プリントコントロールはコマンドのみを含み、印刷データは含みません。パラメータ'a'は常に '0' (UTF-8)を選択します。

[Font set list]

Parameter b	Font name	Font set	Font type	Character code range (UTF-16BE)
0	SATO Hebe Sans	WGL4	Hebe Serif	0020-FB02
1	SATO Hebe Sans Arabic	Arabic (Farsi) +ISO8859-1	Hebe Serif	0020-00FF, 0600-06FF FE70-FEFC
2	SATO Hebe Sans Thai	Thai +ISO8859-1	Hebe Serif	0020-00FF, 0E01-0E5B
3	SATO Hebe Sans Hindi	Hindi +ISO8859-1	Hebe Serif	0020-00FF, 0901-097F
4	SATO Gothic Tradional Chinese	WGL4	Hebe Serif	0020-FFE6
		Big5	MobileGothic	
		GB-18030	Crystalzhonghei	
		JISx0208(+NEC) JISx0201	MobileGothic	
		KSX 1001	MobileGothic	
5	SATO Gothic Japanese	WGL4	Hebe Serif	0020-FFE6
		JISx0208(+NEC) JISx0201	MobileGothic	
		KSX 1001	MobileGothic	
		GB-18030	Crystalzhonghei	
		Big5	MobileGothic	
6	SATO Gothic Simplified Chinese	WGL4 GB-18030	Hebe Serif Crystalzhonghei	0020-FFE5
7	SATO Gothic Korean	WGL4	Hebe Serif	0020-FFE6
		KSX 1001	MobileGothic	
		JISx0208(+NEC) JISx0201	MobileGothic	
		GB-18030	Crystalzhonghei	
		Big5	MobileGothic	
8	SATO Silver Serif	WGL4	Silver Serif	0020-FB02
9	SATO Mincho Tradional Chinese	WGL4	Silver Serif	0020-FFE6
		Big5	Mincho	
		GB-18030	Shusong2M	
		JISx0208(+NEC) JISx0201	CrystalMincho	
		KSX 1001	Mincho	
10	SATO Mincho Japanese	WGL4	Silver Serif	0020-FFE6
		JISx0208(+NEC) JISx0201	CrystalMincho	
		KSX 1001	Mincho	
		GB-18030	Shusong2M	
		Big5	Mincho	
11	SATO Mincho Simplified Chinese	WGL4 GB-18030	Silver Serif Shusong2M	0020-FFE5
12	SATO Mincho Korean	WGL4	Silver Serif	0020-FFE6
		KSX 1001	Mincho	
		JISx0208(+NEC) JISx0201	CrystalMincho	
		GB-18030	Shusong2M	
		Big5	Mincho	
13	SATO Roman Arabic	Arabic +ISO8859-1	Roman	0020-00FF, 0600-06FF, FDF2, FE70-FEFC
14	SATO Hebe Sans Hebrew	Hebrew +ISO8859-1	Hebe Serif	0020-00FF, 05B0-05F4, FB1D-FB4F

<RG> コマンドフォントセット一覧

Parameter a	Official name	[Supplemental explanation]
858	DOS 858	Multilingual Latin 1 + Euro character Default Code page proprietary to SATO.
88591	ISO 8859/1	ISO 8859-1 Latin 1
88592	ISO 8859/2	ISO 8859-2 Latin 2
88599	ISO 8859/9	ISO 8859-9 Latin 5
850	DOS 850	Latin 1 Multilingual
852	DOS 852	Latin 2
855	DOS 855	Cyrillic
857	DOS 857	Turkish
737	DOS 737	Greek
866	DOS 866	Cyrillic II
1250	Win 1250	Central Europe
1251	Win 1251	Cyrillic
1252	Win 1252	Western Latin 1
1253	Win 1253	Greek
1254	Win 1254	Turkish
1257	Win 1257	Baltic
869	IBM 869	IBM 869 Greek
201	X0201	Japanese X0201 *1
UTF-8	UTF-8	Unicode encoding in UTF-8

コードページ毎の<CE>コマンドパラメータ

b	Fontname	Sample
0	SATO Hebe Sans	This is a fontsample.
8	SATO Silver Serif	This is a fontsample.
1	SATO Hebe Sans Arabic	هذا هو عينة من الخط.
13	SATO Roman Arabic	هذا هو عينة من الخط.
2	SATO Hebe Sans Thai	นี่คือตัวอย่างของตัวอักษร
3	SATO Hebe Sans Hindi	इस फॉन्ट का एक नमूना है.
14	SATO Hebe Sans Hebrew	זוהי דוגמא של הנופן.
4	SATO Gothic Traditional Chinese	這是字體的樣本。
9	SATO Mincho Traditional Chinese	這是字體的樣本。
6	SATO Gothic Simplified Chinese	这是字体的样本。
11	SATO Mincho Simplified Chinese	这是字体的样本。
5	SATO Gothic Japanese	これはフォントのサンプルです。
18	SATO Mincho Japanese	これはフォントのサンプルです。
7	SATO Gothic Korean	이것은 글꼴의 샘플입니다.
12	SATO Mincho Korean	이것은 글꼴의 샘플입니다.

各言語のサンプル

6.3 スマートスタイル

トランザクションコードに `/nsmartstyles` と入力し ‘スマートスタイル’ 画面を表示します。

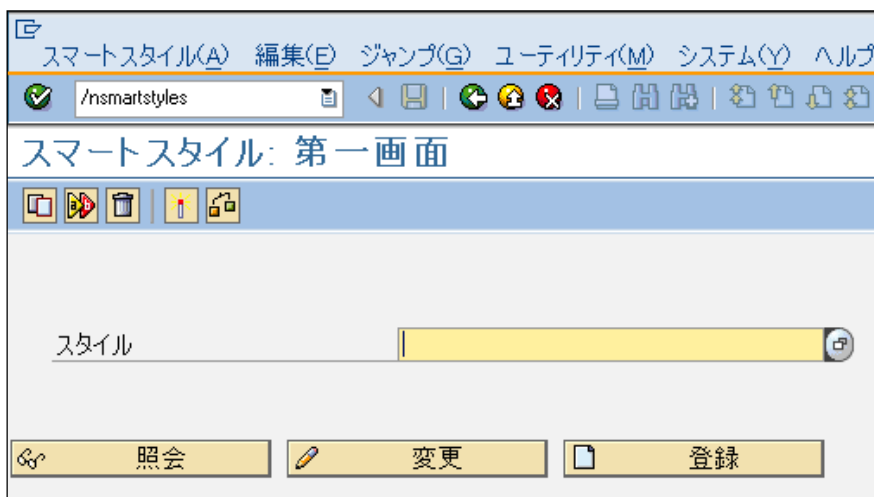


Figure 36 スマートスタイル

‘スマートフォーム’ で使用されるアイテムを定義するため、‘スマートスタイル’ を登録または変更します。

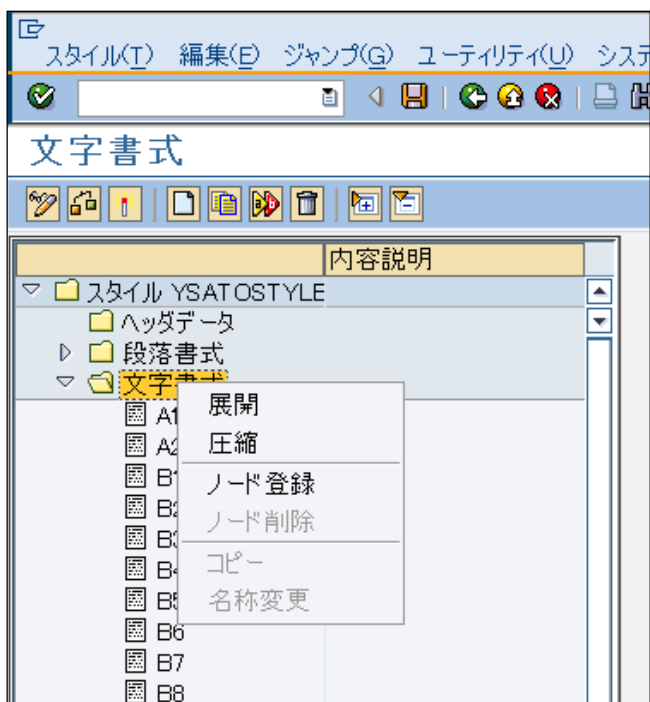


Figure 37 文字のノード登録

‘文字書式’ を右クリックして ‘ノード登録’ を選択します。

文字書式	B1										
説明	SATO Interleaved 2 of 5(1:3)										
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 標準設定 フォント </div>											
機能 <input type="checkbox"/> 添字 <input type="checkbox"/> 肩文字											
バーコード <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>YST2OF5</td> <td>SATO Barcode Int. 2of5 1:3</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>2.00</td> <td>CM</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>2.00</td> <td>CM</td> </tr> </table>			名称	YST2OF5	SATO Barcode Int. 2of5 1:3	幅	2.00	CM	高さ	2.00	CM
名称	YST2OF5	SATO Barcode Int. 2of5 1:3									
幅	2.00	CM									
高さ	2.00	CM									
プレビュー abcdefghijklmnopqrstuvwxyz SATO Interleaved 2 of 5(1:3)											

Figure 38 スマートスタイルでのバーコードの定義

文字書式	B1										
説明	SATO Interleaved 2 of 5(1:3)										
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 標準設定 フォント </div>											
機能 <input type="checkbox"/> 添字 <input type="checkbox"/> 肩文字											
バーコード <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>YST2OF5</td> <td>SATO Barcode Int. 2of5 1:3</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>2.00</td> <td>CM</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>2.00</td> <td>CM</td> </tr> </table>			名称	YST2OF5	SATO Barcode Int. 2of5 1:3	幅	2.00	CM	高さ	2.00	CM
名称	YST2OF5	SATO Barcode Int. 2of5 1:3									
幅	2.00	CM									
高さ	2.00	CM									
プレビュー abcdefghijklmnopqrstuvwxyz SATO Interleaved 2 of 5(1:3)											

Figure 39 スマートスタイルでのフォント書式の定義

バーコードや文字を定義した後、‘チェック (F8)’ ボタンと ‘有効化 (Ctrl+F3)’ ボタンを押し、スマートスタイルのチェックと有効化を行います。

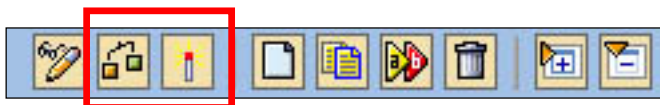


Figure 40 スマートスタイルのチェックと有効化

6.4 スマートフォーム

トランザクションコードに ‘/nsmartforms’ と入力しスマートフォームを起動します。

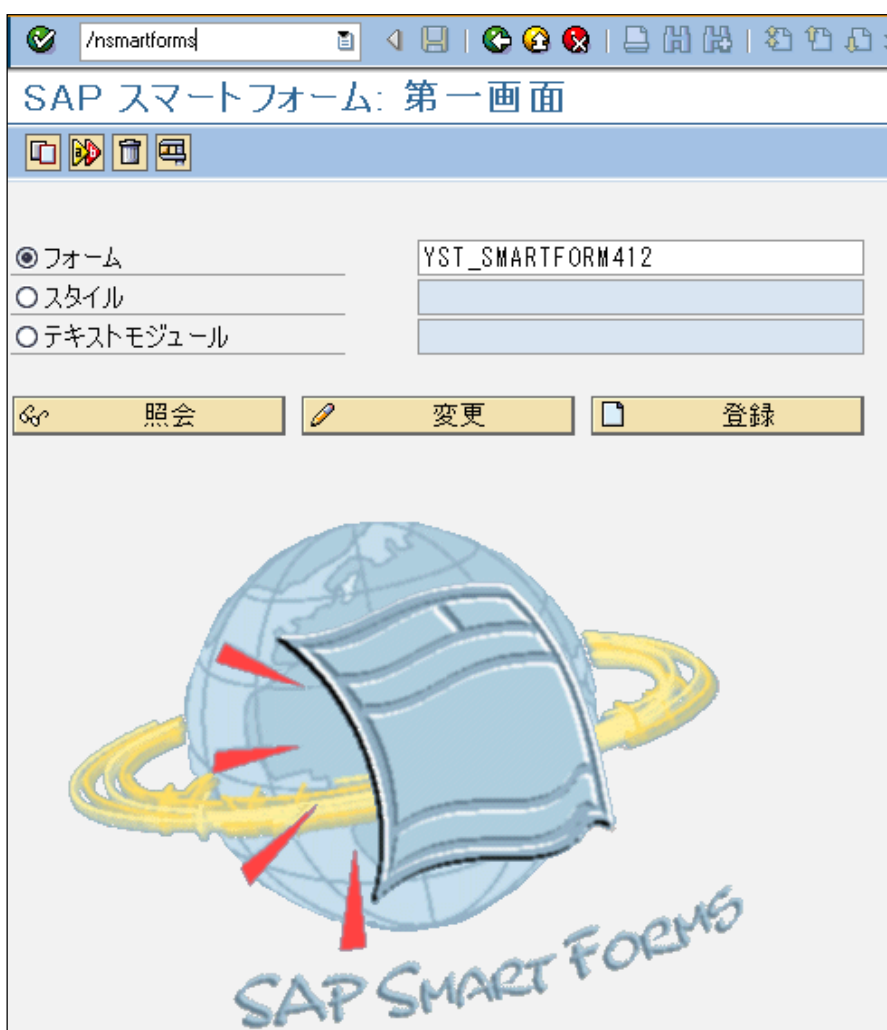


Figure 41 スマートフォーム

フォーム名の先頭に ‘YST’ とついているスマートフォームを登録または変更します。

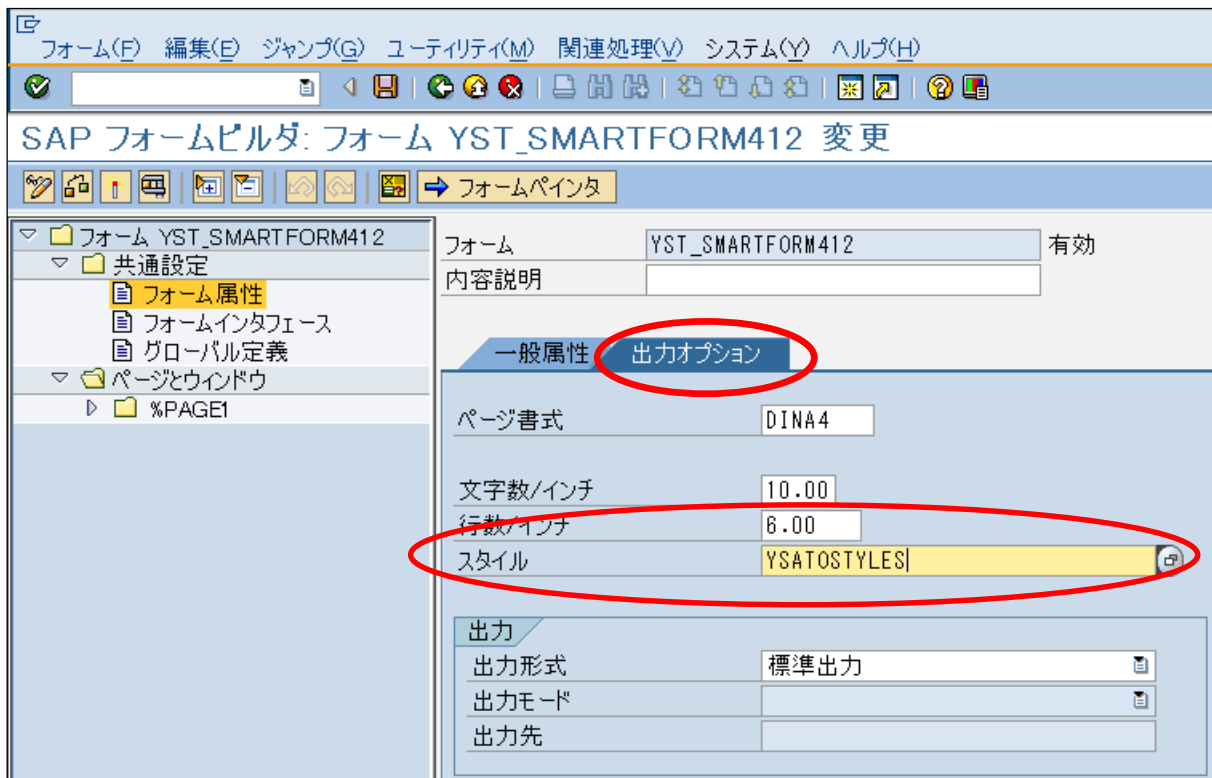


Figure 42 スマートスタイルの適用

‘共通設定->フォーム属性’を開き ‘出力オプション’ タブにて定義されたスマートスタイルを適用して下さい。

6.4.1 テキストの追加

‘PAGE 1’ を右クリックし ‘登録->ウィンドウ’ を選択しウィンドウコンポーネントを登録します。

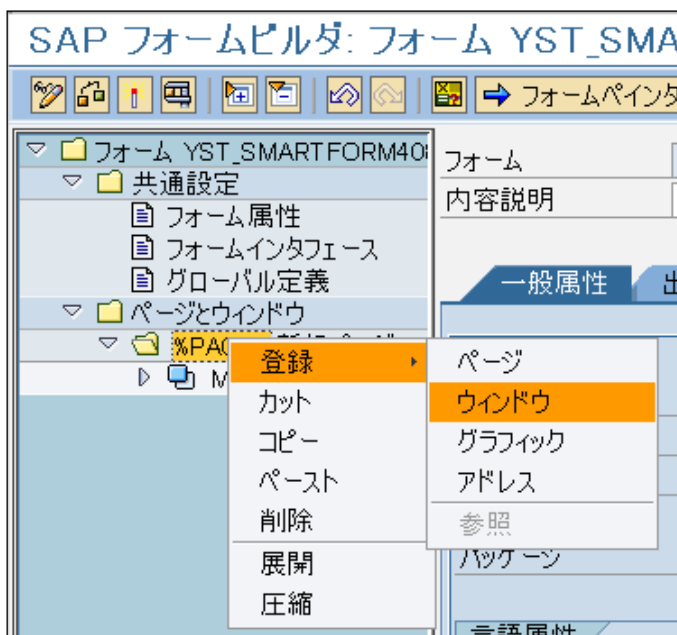


Figure 43 ウィンドウコンポーネントの登録

登録した Window に任意の名前を付け右クリックで ‘登録->テキスト’ を選択しテキストコンポーネントを登録します。

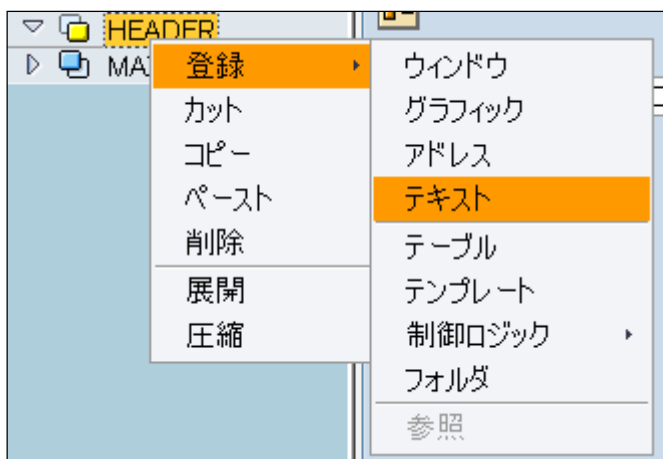


Figure 44 テキストコンポーネントの登録

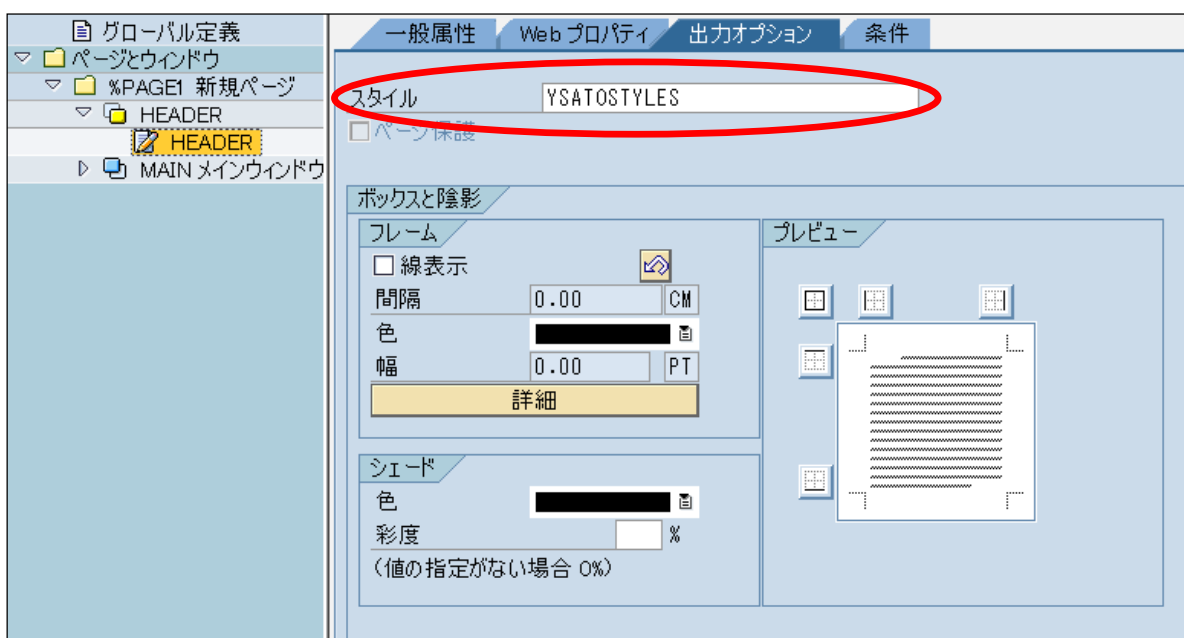


Figure 45 テキストコンポーネントの定義

‘出力オプション’ タブにてスタイルを選択します。予め登録されたスマートスタイルを選択します。

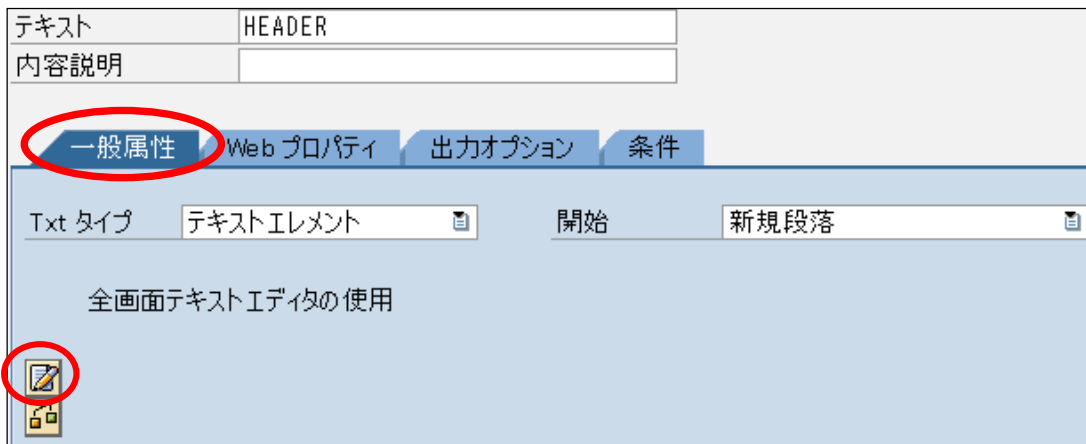


Figure 46 テキストの追加

‘一般属性’タブにて‘エディター’ボタンを押すとテキスト入力画面が表示されます。
注意： この操作はエディタモードによって異なります。

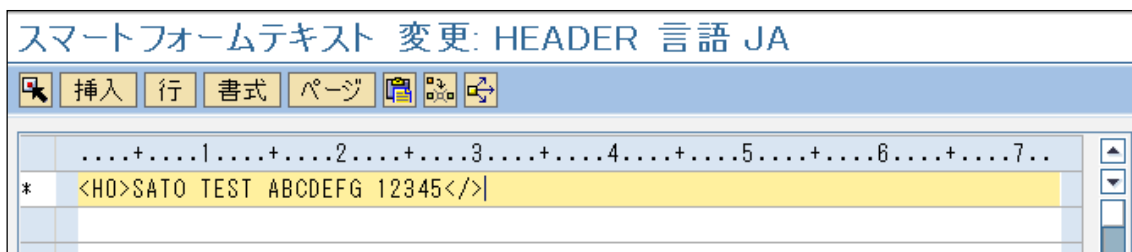


Figure 47 テキストの入力と書式

テキストにはフォーマットタグを埋め込む必要があります。上の例では SATO CG Triumvirate フォント(ESC+RD)を使用するためにテキストを<H0> と</> でくくっています。<H0> はスマートスタイルで予め定義しておきます。

6.4.2 バーコードの追加

ウィンドウコンポーネントを定義し任意の名前を付けて下さい。次に右クリックメニューで‘登録->テキスト’を選択しテキストコンポーネントを登録します。

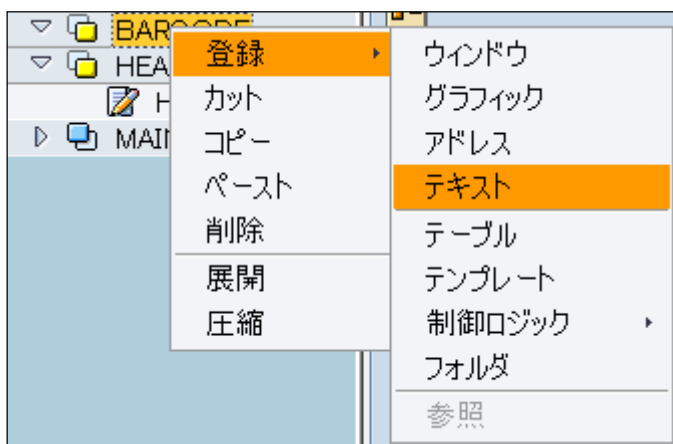


Figure 48 バーコードコンポーネントの作成

‘出力オプション’ タブにてスタイルを適用します。次に ‘一般属性’ タブにてエディターを起動しバーコード種とバーコードの値を入力し適用します。

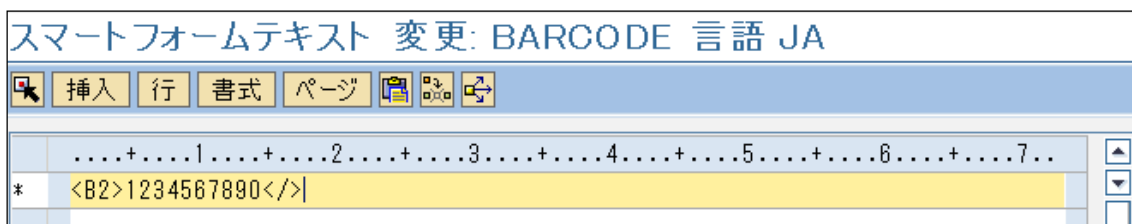


Figure 49 バーコード値の入力

テキストにはフォーマットタグを埋め込む必要があります。上の例ではテキストはバーコード SATO Code 128A Barcode を使用するために<B2>と</>でくくっています。<B2>は予めスマートスタイルで定義しておきます。

6.4.3 画像の追加

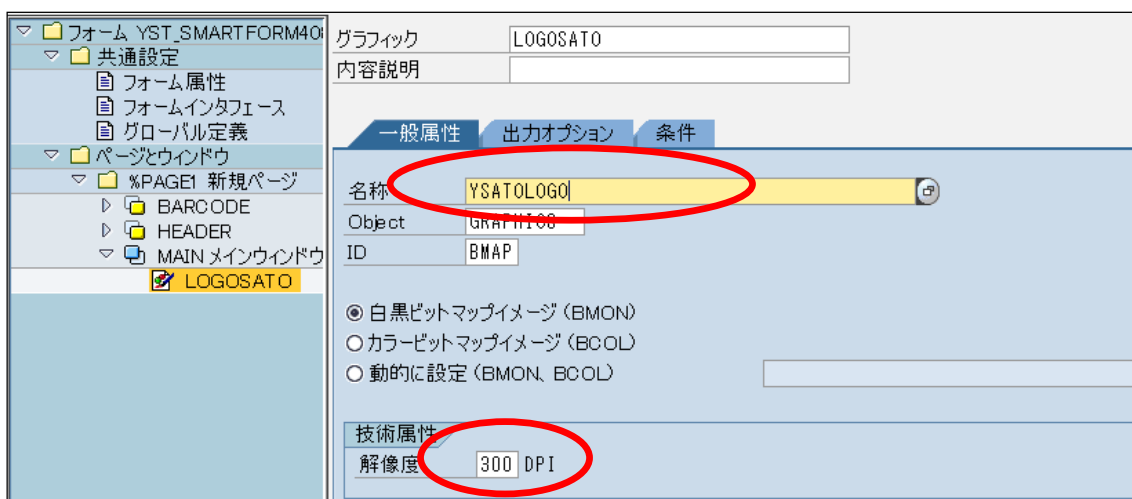


Figure 50 グラフィックコンポーネントの作成

画像はスマートフォームで使用する前に **SE78**コマンドを使用して予め SAP システムにインストールする必要があります。

‘一般属性’ タブの ‘名称’ のドロップダウンリストの中から使用するイメージを選択します。そして、イメージの解像度の指定を行ってください。例として、300dpi のプリンタを使用する場合は ‘解像度’ の設定をドロップダウンリストより300を選択します。

現在、SATO-SAP Printer Driver でサポートするイメージには以下の制限があります。

- 白黒ビットマップイメージのみサポートします
- トランザクションコード ‘SE78’ でイメージアップロードの際 ‘圧縮’ は使用できません

6.4.4 印字項目の位置調整

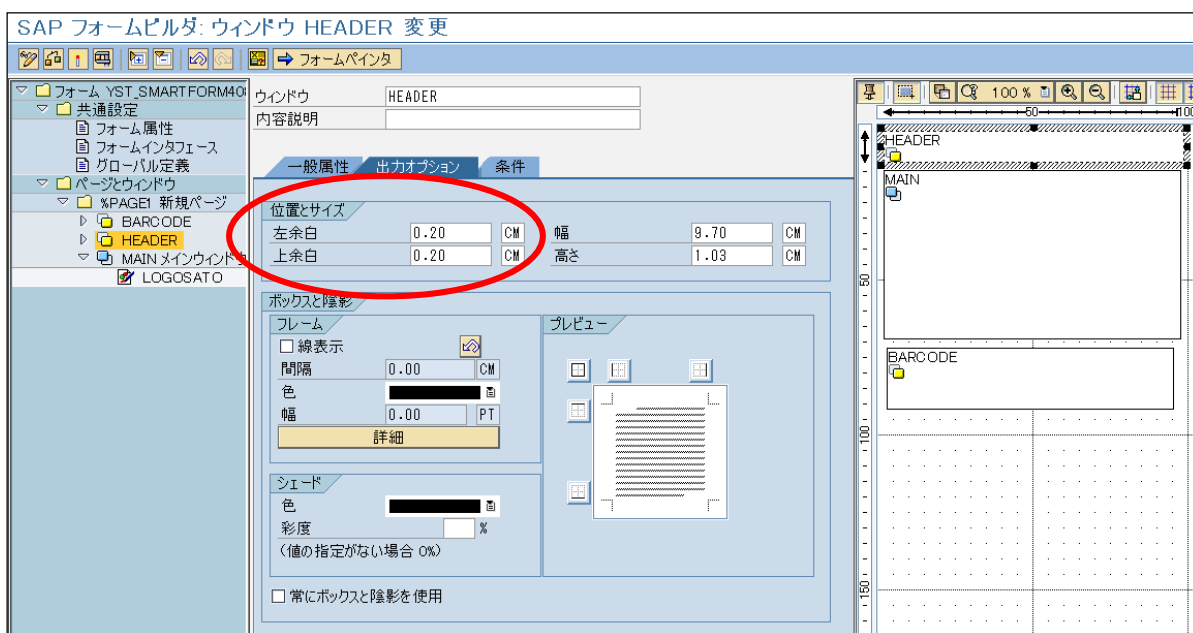


Figure 51 印字項目の位置調整

印字項目の位置調整は‘フォームペインタ’でドラッグ&ドロップでの調整、又は、‘出力オプション’タブにて‘位置とサイズ’の左余白、上余白の値で調整可能です。

6.4.5 スマートフォームの印刷

作成したスマートフォームを印刷するには‘チェック (Ctrl+F4)’ボタンでチェック、‘有効化 (Ctrl+F3)’ボタンで有効化を行い‘テスト (F8)’ボタンを押します。



Figure 52 スマートフォームのチェックと有効化

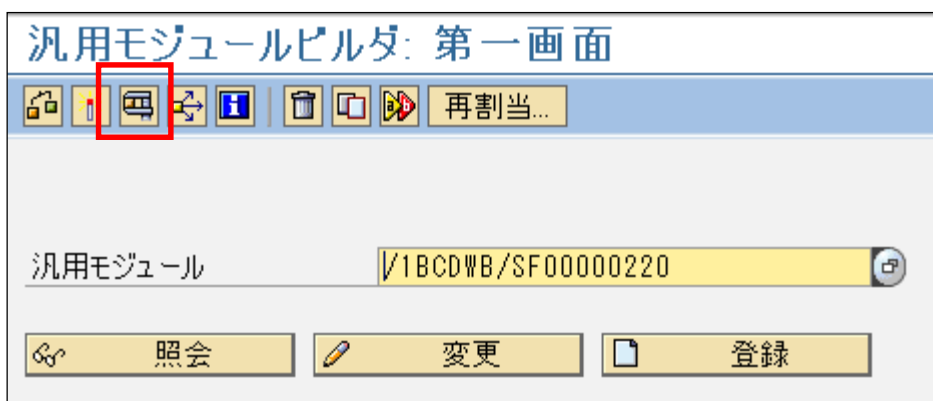


Figure 53 スマートフォームの印刷

‘テスト／実行 (F8)’ を押して次に進みます。

汎用モジュールテスト：第一画面	
汎用グループのテスト	/1BCDWB/SF00000220
汎用モジュール	/1BCDWB/SF00000220
大文字/小文字	<input type="checkbox"/>
IMPORT パラメータ	値
ARCHIVE_INDEX	00.00.0000
ARCHIVE_INDEX_TAB	0 エントリ
ARCHIVE_PARAMETERS	
CONTROL_PARAMETERS	
MAIL_APPL_OBJ	
MAIL_RECIPIENT	
MAIL_SENDER	
OUTPUT_OPTIONS	<初期値>
USER_SETTINGS	X

Figure 54 汎用モジュールテスト画面

‘実行 (F8)’ ボタンを押し次に進みます。

印刷:	
出力デバイス	YST_OUTPUTDEVICE_305
選択ページ	
スプール依頼	
名称	SMART 05122967
表題	
権限	
スプール制御	
<input checked="" type="checkbox"/> 即時印刷	
<input type="checkbox"/> 出力後削除	
<input type="checkbox"/> 新規スプール依頼	
<input type="checkbox"/> スプール依頼終了	
スプール保存期間	8 日数
保管モード	印刷のみ
印刷部数	
番号	1
<input type="checkbox"/> グループ化 (1-1-1,2-2-2,3-3-3,...)	
カバーページ設定	
SAP 表紙	印刷しない
受信者	
部署	

Figure 55 印刷画面 - 出力デバイスの選択

出力デバイスを選択し ‘即時印刷’ のチェックボックスをONにします。 ‘印刷ボタン’ で印刷を行います。

6.5 システムコマンド

スマートフォームのコマンド機能を使うことで SBPL のシステムコマンドを指定できます。

右クリックから ‘ウィンドウ->登録->制御ロジック->コマンド’ を選択して下さい。

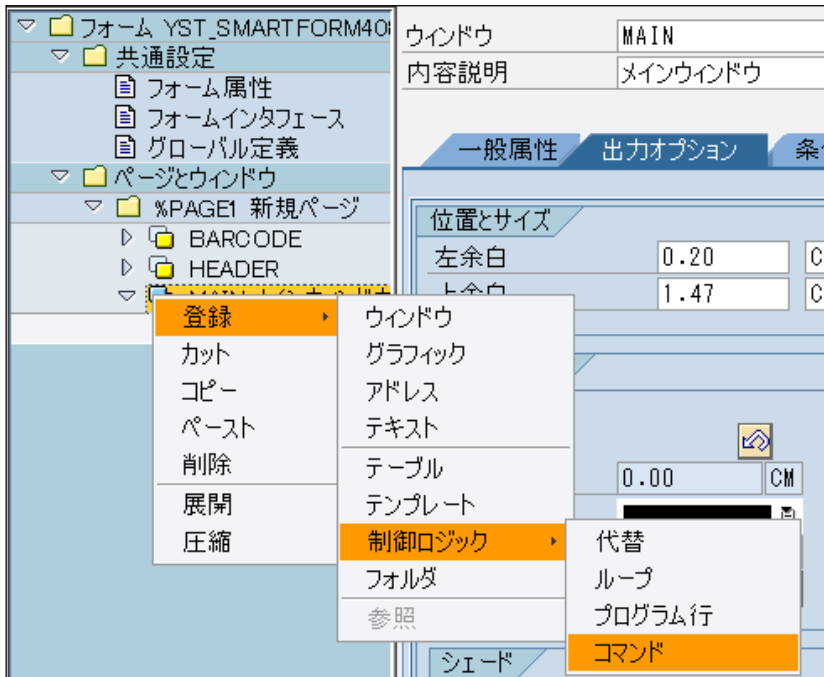


Figure 56 コマンド機能でのシステムコマンドの定義

‘出力オプション’ タブにてシステムコマンドの属性名と属性値を定義します。
属性値はシングルクォーテーション(')でくくらなければなりません。また、コマンドによっては空にする必要があります。

コマンド	%COMMAND1
内容説明	新規コマンド 1

一般属性 条件

新規ページにジャンプ

段落番号のリセット

出力オプション

プリンタコントロールの Include

スプール依存の自由属性

属性名	属性値
PRINT_SPEED	'5'
PRINT_DARKNESS	'3A'
LABEL_SIZE	'21361248'
STANDARD_AREA	

Figure 57 属性名と属性値

利用可能なシステムコマンドは下記の通りです。

機能	コマンド名 (属性名)	コマンド値 (属性値)	SBPL コマンド	備考
印字速度	PRINT_SPEED	1~11	ESC+CS	
印字濃度	PRINT_DARKNESS	ab, a: 1~5 b: A~F	ESC+#E	
用紙サイズ	LABEL_SIZE	コマンド仕様書 を参照。	ESC+A1	未指定の場合、ESC+A1 コマンドの初期値がセ ットされます。
基点補正	START_POINT	コマンド仕様書 を参照。	ESC+A3	未指定の場合、ESC+A3 コマンドの初期値がセ ットされます。
印字領域拡張	ENLARGEMENT_AREA	値は空にして 下さい。	ESC+AX	
標準印字領域	STANDAR_AREA	値は空にして 下さい。	ESC+AR	
印字最終位置	PRINT_END_POS	値は空にして 下さい。	ESC+EP	
マルチカット	MULTIPLE_CUT	0~9999	ESC+~ (Null)	カッターユニット装着 時に有効。
カット単位 枚数	CUT_SEGMENT	0~9999	ESC+~A	カッターユニット装着 時に有効。
カット枚数 指定	CUT_CTCOMMAND	0~9999	ESC+CT	カッターユニット装着 時に有効。
排出カット 動作指定	CUT_NCCOMMAND	値は空にして 下さい。	ESC+NC	カッターユニット装着 時に有効。
90度回転	ROTATE_90_x	回転させたい ウィンドウ名	ESC+%1	xにはスマートフォーム 上でコマンド名が重複 しないよう任意の数字 を入力します。
180度回転	ROTATE_180_x	回転させたい ウィンドウ名	ESC+%2	xにはスマートフォーム 上でコマンド名が重複 しないよう任意の数字 を入力します。

270 度回転	ROTATE_270_x	回転させたい ウィンドウ名	ESC+%3	xにはスマートフォン 上でコマンド名が重複 しないよう任意の数字 を入力します。
ページ部数	PRINT_QUANTITY	ページ部数	ESC+Q	未指定時の場合、ペー ジを1枚印刷します。 例) 値が '%PAGE2:4' の場合、'%PAGE2'を4 回印刷します。 カンマでその後のペー ジ部数を追加すること もできます。 例) 値が '%PAGE2:4, %PAGE3: 3'の場合、'%PAGE2'を 4回'%PAGE3'を3回印刷 します。
印字濃度 (#F コマン ド)	PRINT_DARKNESS_F	ab, a:1~10 b:A~F	ESC+#F	本コマンドの対応モデ ルは SG112R/ex のみ。
動作モード	PRINTMOTION_MODE	0-8	ESC+PM	一時的に動作モードを 指定します。
オフセット	LABELSTOP_OFFSET	abcc, a:0~3 b:+/- c:00~99(dot)	ESC+PO	一時的にラベル停止位 置の調整を行います。

Table 7 システムコマンド

コマンド値を理解するためには、プリンタのコマンド仕様書を参照して下さい。
また、コマンド名は大文字、小文字を識別しますので注意して下さい。

システムコマンドの使用時に範囲外の入力を行った場合、予期せぬ印刷結果となる場合がありますので注意して下さい。

以下の表はプリンタ機種ごとにサポートしているシステムコマンドの一覧です。

Model	PT4xxe/ MB4xxi/HR224	CT4xxi/ CGxxx	LT4xx/MR4xxe /M84Pro/CLxNX	S-8x-ex
Command				
PRINT_SPEED	○	○	○	○
PRINT_DARKNESS	○	○	○	○
LABEL_SIZE	○	○	○	○
START_POINT	○	○	○	○
ENLARGEMENT_AREA			○	○
STANDARD_AREA			○	○
PRINT_END_POS		○	○	○
AUTO_LINEFEED	○	○	○	○
ROTATE_xx_X	○	○	○	○
PRINT_QUANTITY	○	○	○	○

Table 8 対応システムコマンド一覧

以下の表はプリンタ機種ごとにサポートしているカットコマンドの一覧です。

Model	PT4xxe/ MB4xxi/ HR224	CT4xxi/ CGxxx	LT4xx /M84Pro / CLxNX	MR4xxe	S-8x-ex
Command					
MULTIPLE_CUT		○*	○*	○*	○*
CUT_SEGMENT		○*	○*	○*	○*
CUT_OPERATION		○*	○*	○*	○*
CUT_CTCOMMAND		○*		○*	
CUT_NCCOMMAND		○*		○*	

Table 9 対応カットコマンド一覧

* カッターユニット装着時に有効

6.5.1 テキストの回転

スマートフォーム上でテキストや画像を回転させる為には、ウィンドウにコマンドを作成します。同じ名前のコマンドパラメータ（例 ROTATE_180_x）は繰り返し指定できません。

以下の図で、テキストがどのように回転するかイメージを説明します。

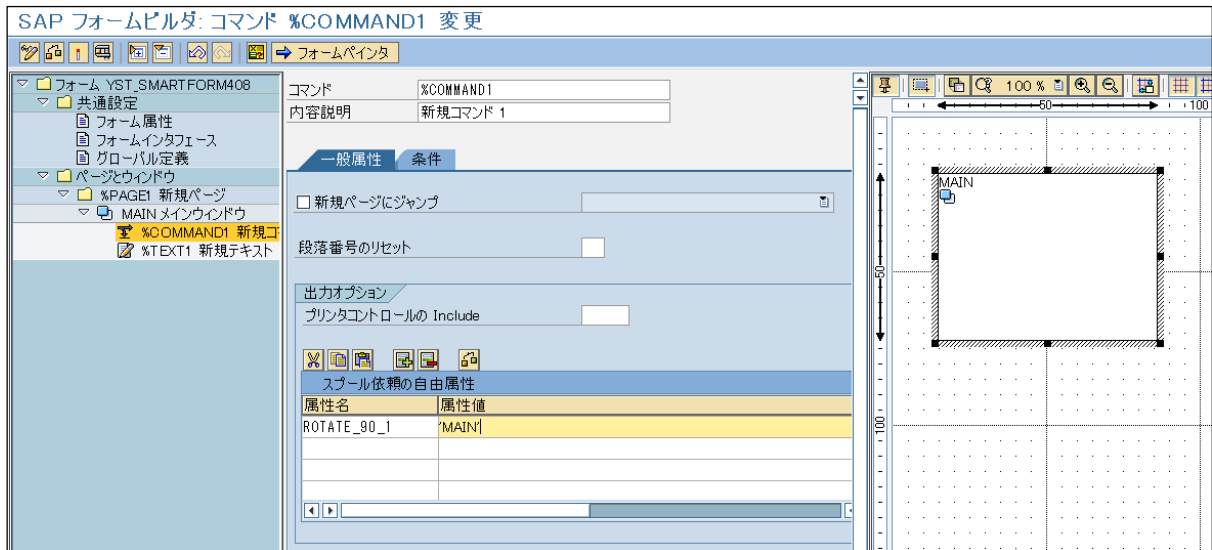


Figure 58 テキストの回転

回転指定時の印刷結果

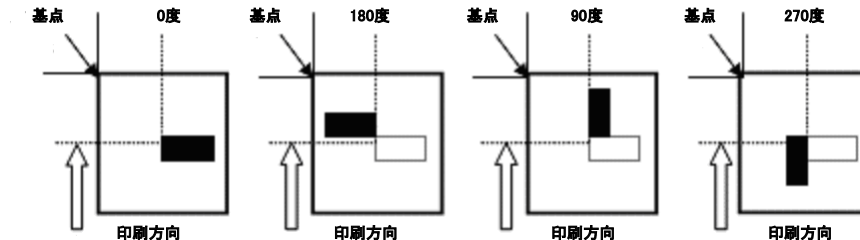


Figure 59 回転結果

回転コマンドの動作仕様についてはコマンド仕様書を参照願います。

テキスト回転の機能にはいくつかの制限があります。

- スマートフォームのプレビューでは、テキストは回転して表示されません。実際の印刷結果を見て印刷位置の調整を行って下さい。
- テキストを回転させる場合、そのウィンドウに罫線、枠線は使用できません。
- テキストを回転させる場合、そのテキストには1行しか記述できません。

6.5.2 コマンドを使った用紙サイズ設定

これはサトープリンタ言語の用紙サイズ指定<A1>コマンドを使用して用紙サイズを定義する為の別の方法です。この設定は、スマートフォームのページ書式設定からプリンタの用紙サイズ値を上書きします。この方法をスマートフォームで使用する前に、SBPL マニュアルの用紙サイズ指定<A1>コマンドを参照して下さい。SBPL マニュアルに従い、ラベルの高さ、幅、値範囲、桁数等をパラメータ値として [Table 7 システムコマンド](#) で説明した 'LABEL_SIZE' コマンドと共に加えます。

注意: GL プリンタを用いて SAP から横長のレイアウトを印刷する場合は、GL プリンタはラベル幅の方がラベル高より長い値を受け付けない為、プリンタ本体で（LCD 画面とボタン操作による）印刷方向を設定してください。

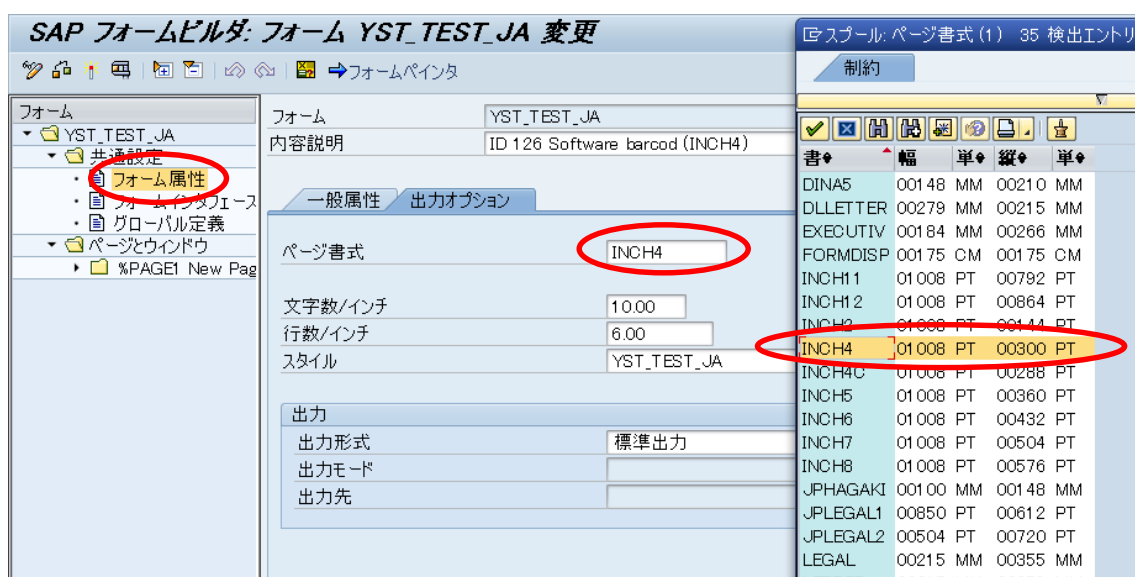


Figure 60 Page Format settingを使用した標準的な用紙サイズ設定

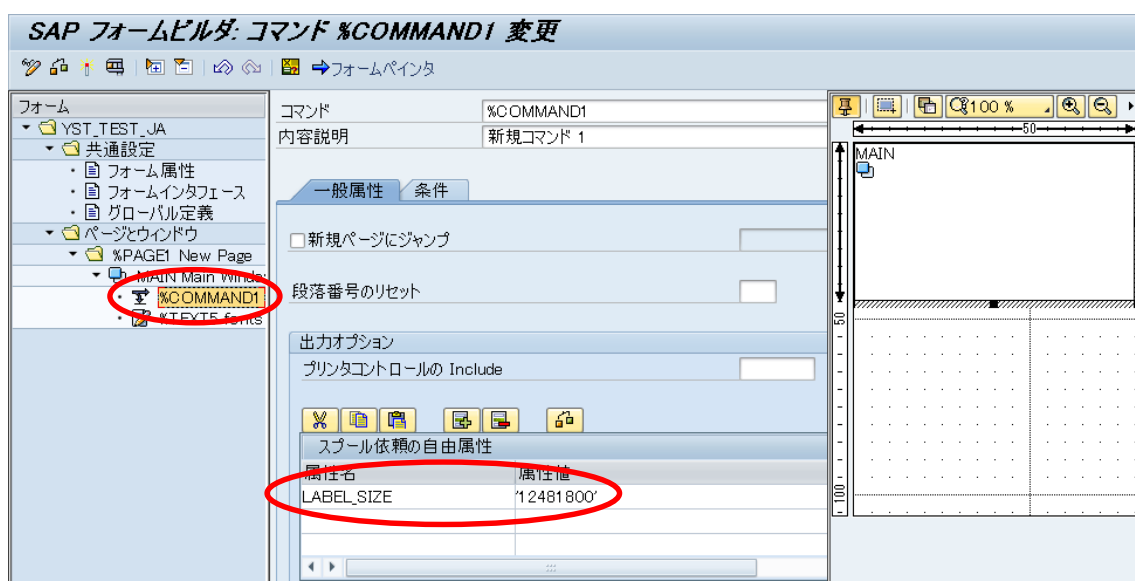


Figure 61 コマンドを使ったカスタム用紙サイズ設定

6.5.3 反転印刷エリアの設定

スマートフォームの反転エリアを設定するには、画面上でコマンドを作成します。パラメータ名 (INVERSE_PRNTAREA) を作成します。下図は反転エリアの設定例です。

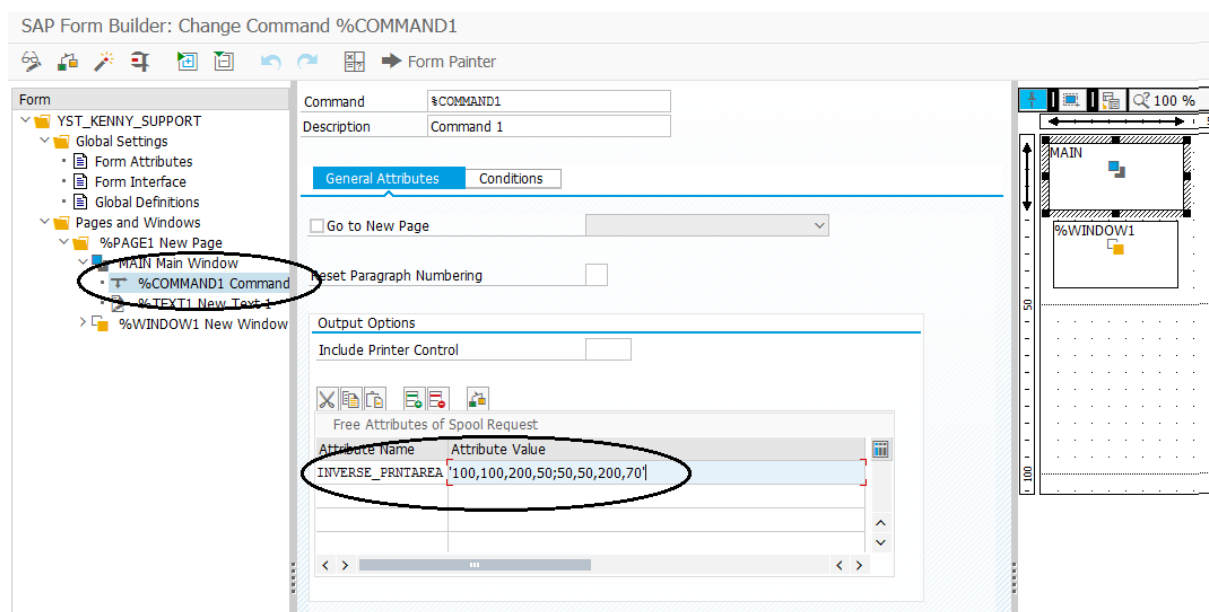
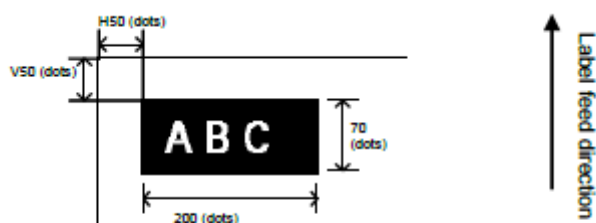


Figure 62 反転エリアの設定。(例は2つの反転エリア V100H100 幅200 高さ50 と V50H50 幅200 高さ70)



[Note]
For setting, keep the black print area under 30% of overall label.

【有効範囲】

モデル	有効範囲：横方向の長さ (dot)	有効範囲：縦方向の長さ (dot)
M84Pro	8~832	8~1424
CT400DT/TT	8~832	8~3200
CT410DT/TT	8~1248	8~4800
CL4NX/CL4NX Plus/CL4NX-J/CL4NX-J Plus, PWNX, S84-ex 203 dpi, S84NX 203dpi, CL4-SXR TT203/CL4-SXR TT203 (JP)	8~832	8~20000
CL4NX/CL4NX Plus/CL4NX-J/CL4NX-J Plus, S84-ex 305 dpi, S84NX 305dpi, CL4-SXR TT305/CL4-SXR TT305 (JP)	8~1248	8~18000
CL4NX/CL4NX Plus/CL4NX-J/CL4NX-J Plus, S84-ex 609dpi, S84NX 609dpi, CL4-SXR TT609/CL4-SXR TT609 (JP)	8~2496	8~9600
CL6NX/CL6NX Plus/CL6NX-J/CL6NX-J Plus, S86-ex 203 dpi, S86NX 203dpi, CL6-SXR TT203/CL6-SXR TT203 (JP)	8~1216	8~20000
CL6NX/CL6NX Plus/CL6NX-J/CL6NX-J Plus, S86-ex 305 dpi, S86NX 305dpi, CL6-SXR TT305/CL6-SXR TT305 (JP)	8~1984	8~18000

制限事項

7

SATO PDL Driver がサポートしない以下の事項にご注意願います。

- 圧縮されたビットマップ画像とカラーのビットマップ画像
- 下線（アンダーライン）、上付き文字、添字
- フォントサイズ変換処理においてスマートフォームのフォントサイズ（ポイント）からプリンタフォントサイズ（ドット）変換時にわずかな差が生じる為、スマートフォーム上の描画と印刷結果とでフォントサイズが異なる場合があります。
- 203dpi のプリンタモデルでは Courier Font（固定サイズの SATO レジデントフォント）で8ポイント又はそれ以下の文字サイズをサポートしていません。8ポイントよりも若干大きい文字で印字されます。
- 以下の Device Type（ISO8859-1 及び Codepage 850）では幾つかのヨーロッパキャラクターが利用できません。詳細についてはコマンド仕様書を参照願います。

SATO PDL Driver でサポートされていない SATO プリンタの他の機能については、SATO のテクニカルチームにカスタマイズの依頼として (<https://sato-globalhelp.zendesk.com/hc/en-001/requests/new>) 宛てにご連絡下さい。

8.1 Barcode Print Control 一覧

新バーコードテクノロジーについては [Table 3 Barcode Print Control 一覧](#) を参照願います。

旧バーコードテクノロジーの Print Control 一覧を以下に記載します。

Barcode (Ratio 1:3)

NW-7 (CODABAR)

SAP Print Control	Narrow Bar Width	Mapped to SBPL Command
SB101	1	ESC+B001
SB102	2	ESC+B002
SB103	3	ESC+B003
SB104	4	ESC+B004
SB105	5	ESC+B005
SB106	6	ESC+B006
SB107	7	ESC+B007
SB108	8	ESC+B008
SB109	9	ESC+B009
SB110	10	ESC+B010
SB111	11	ESC+B011
SB112	12	ESC+B012

Interleaved 2 of 5

SB121	1	ESC+B201
SB122	2	ESC+B202
SB123	3	ESC+B203
SB124	4	ESC+B204
SB125	5	ESC+B205
SB126	6	ESC+B206
SB127	7	ESC+B207
SB128	8	ESC+B208
SB129	9	ESC+B209
SB130	10	ESC+B210
SB131	11	ESC+B211
SB132	12	ESC+B212

JAN/EAN13

SB141	1	ESC+B301
SB142	2	ESC+B302
SB143	3	ESC+B303
SB144	4	ESC+B304
SB145	5	ESC+B305
SB146	6	ESC+B306
SB147	7	ESC+B307

SB148	8	ESC+B308
SB149	9	ESC+B309
SB150	10	ESC+B310
SB151	11	ESC+B311
SB152	12	ESC+B312

JAN/EAN8

SB161	1	ESC+B401
SB162	2	ESC+B402
SB163	3	ESC+B403
SB164	4	ESC+B404
SB165	5	ESC+B405
SB166	6	ESC+B406
SB167	7	ESC+B407
SB168	8	ESC+B408
SB169	9	ESC+B409
SB170	10	ESC+B410
SB171	11	ESC+B411
SB172	12	ESC+B412

UPC-A

SB181	1	ESC+BH01
SB182	2	ESC+BH02
SB183	3	ESC+BH03
SB184	4	ESC+BH04
SB185	5	ESC+BH05
SB186	6	ESC+BH06
SB187	7	ESC+BH07
SB188	8	ESC+BH08
SB189	9	ESC+BH09
SB190	10	ESC+BH10
SB191	11	ESC+BH11
SB192	12	ESC+BH12

PostNet

SB007	ESC+BP
-------	--------

Barcode (Ratio 1:2)

NW-7 (CODABAR)

SAP Print Control	Narrow Bar Width	Mapped to SBPL Command
SB201	1	ESC+D001
SB202	2	ESC+D002
SB203	3	ESC+D003
SB204	4	ESC+D004
SB205	5	ESC+D005
SB206	6	ESC+D006
SB207	7	ESC+D007
SB208	8	ESC+D008
SB209	9	ESC+D009
SB210	10	ESC+D010
SB211	11	ESC+D011
SB212	12	ESC+D012

Interleaved 2 of 5

SB221	1	ESC+D201
SB222	2	ESC+D202
SB223	3	ESC+D203
SB224	4	ESC+D204
SB225	5	ESC+D205
SB226	6	ESC+D206
SB227	7	ESC+D207
SB228	8	ESC+D208
SB229	9	ESC+D209
SB230	10	ESC+D210
SB231	11	ESC+D211
SB232	12	ESC+D212

JAN/EAN13

SB241	1	ESC+D301
SB242	2	ESC+D302
SB243	3	ESC+D303
SB244	4	ESC+D304
SB245	5	ESC+D305
SB246	6	ESC+D306
SB247	7	ESC+D307
SB248	8	ESC+D308
SB249	9	ESC+D309
SB250	10	ESC+D310
SB251	11	ESC+D311
SB252	12	ESC+D312

JAN/EAN8

SB261	1	ESC+D401
SB262	2	ESC+D402
SB263	3	ESC+D403
SB264	4	ESC+D404
SB265	5	ESC+D405
SB266	6	ESC+D406
SB267	7	ESC+D407
SB268	8	ESC+D408
SB269	9	ESC+D409
SB270	10	ESC+D410
SB271	11	ESC+D411
SB272	12	ESC+D412

UPC-A

SB281	1	ESC+DH01
SB282	2	ESC+DH02
SB283	3	ESC+DH03
SB284	4	ESC+DH04
SB285	5	ESC+DH05
SB286	6	ESC+DH06
SB287	7	ESC+DH07
SB288	8	ESC+DH08
SB289	9	ESC+DH09
SB290	10	ESC+DH10
SB291	11	ESC+DH11
SB292	12	ESC+DH12

Barcode (Ratio 2:5)

NW-7 (CODABAR)

SAP Print Control	Narrow Bar Width	Mapped to SBPL Command
SB301	1	ESC+BD001
SB302	2	ESC+BD002
SB303	3	ESC+BD003
SB304	4	ESC+BD004
SB305	5	ESC+BD005
SB306	6	ESC+BD006
SB307	7	ESC+BD007
SB308	8	ESC+BD008
SB309	9	ESC+BD009
SB310	10	ESC+BD010
SB311	11	ESC+BD011
SB312	12	ESC+BD012

Interleaved 2 of 5

SB321	1	ESC+BD201
SB322	2	ESC+BD202
SB323	3	ESC+BD203
SB324	4	ESC+BD204
SB325	5	ESC+BD205
SB326	6	ESC+BD206
SB327	7	ESC+BD207
SB328	8	ESC+BD208
SB329	9	ESC+BD209
SB330	10	ESC+BD210
SB331	11	ESC+BD211
SB332	12	ESC+BD212

JAN/EAN13

SB341	1	ESC+BD301
SB342	2	ESC+BD302
SB343	3	ESC+BD303
SB344	4	ESC+BD304
SB345	5	ESC+BD305
SB346	6	ESC+BD306
SB347	7	ESC+BD307
SB348	8	ESC+BD308
SB349	9	ESC+BD309
SB350	10	ESC+BD310
SB351	11	ESC+BD311
SB352	12	ESC+BD312

JAN/EAN8

SB361	1	ESC+BD401
SB362	2	ESC+BD402
SB363	3	ESC+BD403
SB364	4	ESC+BD404
SB365	5	ESC+BD405
SB366	6	ESC+BD406
SB367	7	ESC+BD407
SB368	8	ESC+BD408
SB369	9	ESC+BD409

SB370	10	ESC+BD410
SB371	11	ESC+BD411
SB372	12	ESC+BD412

UPC-A

SB381	1	ESC+BDH01
SB382	2	ESC+BDH02
SB383	3	ESC+BDH03
SB384	4	ESC+BDH04
SB385	5	ESC+BDH05
SB386	6	ESC+BDH06
SB387	7	ESC+BDH07
SB388	8	ESC+BDH08
SB389	9	ESC+BDH09
SB390	10	ESC+BDH10
SB391	11	ESC+DBH11
SB392	12	ESC+BDH12

Code 39 (Ratio 1:3)

SB501	1	ESC+B101
SB502	2	ESC+B102
SB503	3	ESC+B103
SB504	4	ESC+B104
SB505	5	ESC+B105
SB506	6	ESC+B106
SB507	7	ESC+B107
SB508	8	ESC+B108
SB509	9	ESC+B109
SB510	10	ESC+B110
SB511	11	ESC+B111
SB512	12	ESC+B112

Code 39 (Ratio 1:2)

SB521	1	ESC+D101
SB522	2	ESC+D102
SB523	3	ESC+D103
SB524	4	ESC+D104
SB525	5	ESC+D105
SB526	6	ESC+D106
SB527	7	ESC+D107
SB528	8	ESC+D108
SB529	9	ESC+D109
SB530	10	ESC+D110
SB531	11	ESC+D111
SB532	12	ESC+D112

Code 39 (Ratio 2:5)

SB541	1	ESC+BD101
SB542	2	ESC+BD102
SB543	3	ESC+BD103
SB544	4	ESC+BD104
SB545	5	ESC+BD105
SB546	6	ESC+BD106
SB547	7	ESC+BD107
SB548	8	ESC+BD108
SB549	9	ESC+BD109

SB550	10	ESC+BD110
SB551	11	ESC+BD111
SB552	12	ESC+BD112

Code 93

SB561	1	ESC+BC01
SB562	2	ESC+BC02
SB563	3	ESC+BC03
SB564	4	ESC+BC04
SB565	5	ESC+BC05
SB566	6	ESC+BC06
SB567	7	ESC+BC07
SB568	8	ESC+BC08
SB569	9	ESC+BC09
SB570	10	ESC+BC10
SB571	11	ESC+BC11
SB572	12	ESC+BC12

8.2 Font Print Control 一覽

		203dpi	305dpi	609dpi	Print Control
ESC+M (13x20) (Courcyr)	ESC+L	Point			
	1	7	5	2	SF301
	2	14	9	5	SF302
	3	21	14	7	SF303
	4	28	19	10	SF304
	5	36	24	12	SF305
	6	43	28	14	SF306
	7	50	33	17	SF307
	8	57	38	19	SF308
	9	64	43	21	SF309
	10	71	47	24	SF310
	11	78	52	26	SF311
12	85	57	28	SF312	
ESC+S (8x15) (Lnprint)	1	5	4	2	SF201
	2	11	7	4	SF202
	3	16	11	5	SF203
	4	21	14	7	SF204
	5	27	18	9	SF205
	6	32	21	11	SF206
	7	37	25	12	SF207
	8	43	28	14	SF208
	9	48	32	16	SF209
	10	53	35	18	SF210
	11	59	39	20	SF211
	12	64	43	21	SF212
ESC+XM (24x24) (Letgoth) LM4 Device Type	1	8.5	5.5		SF301
	2	17.0	11.5		SF302
	3	25.5	17.5		SF303
	4	34.0	22.5		SF304
	5	42.5	28.5		SF305
	6	51.0	34.0		SF306
	7	59.5	39.5		SF307
	8	68.0	45.5		SF308
	9	76.5	51.0		SF309
	10	85.0	56.5		SF310
	11	93.5	62.5		SF311
	12		68		SF312
ESC+XS (17x17) (Lnprint) LM4 Device Type	1	6.0	4.0		SF201
	2	12.0	8.0		SF202
	3	18.0	12.0		SF203
	4	24.0	16.0		SF204
	5	30.0	20.0		SF205
	6	36.0	24.0		SF206
	7	42.0	28.0		SF207
	8	48.0	32.0		SF208
	9	54.5	36.0		SF209
	10	60.5	40.0		SF210
	11	66.5	44.0		SF211

	12	72.5	48.0		SF212
ESC+XU	1	3.0	2.0		SF101
(5x9)	2	6.5	4.0		SF102
(Cour_i7)	3	9.5	6.5		SF103
LM4	4	13.0	8.5		SF104
Device	5	16.0	10.5		SF105
Type	6	19.0	12.5		SF106
	7	22.5	15.0		SF107
	8	25.5	17.0		SF108
	9	28.5	19.0		SF109
	10	32.0	21.0		SF110
	11	35.0	23.5		SF111
	12	38.5	25.5		SF112

注意: 固定サイズのプリンタ内蔵フォントは、英語版プリンタと LM4 の Device Type でサポートします。

その他のフォントについては[6.2 フォント](#)を参照願います。

SAVO